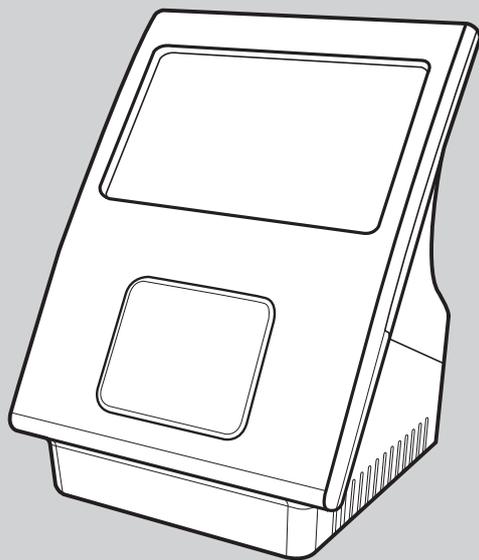


PitTouch[®] Pro
ピットタッチ・プロ

**勤怠パッケージ
ユーザーマニュアル
Version 2.0**



1 必ずお読みください	4
1.1 本書の内容.....	4
1.2 本書中のマーク説明.....	4
1.3 商標などについてのお知らせ.....	4
1.4 ご利用にあたってのお願い.....	5
2 はじめに	6
2.1 概要.....	6
2.2 本製品でできること.....	7
3 使用方法	8
3.1 画面について.....	8
3.1.1 メイン画面	8
3.1.2 通信中画面	9
3.1.3 メッセージ表示画面	9
3.1.4 未送信データフル画面	9
3.1.5 送信データ削除確認画面	10
3.1.6 エラー画面	10
3.2 使用手順.....	11
3.3 管理画面で打刻データを保存／カード名を登録.....	11
3.3.1 打刻データを USB メモリに保存する	11
3.3.2 カードの名前を登録する	13
3.4 便利な機能.....	15
3.4.1 オフラインで利用する	15
3.4.2 ステータス値を変更する	16
3.4.3 時間帯に応じて打刻ステータスを自動で変更する	16
3.4.4 一時的なネットワーク障害発生時に対応する	16
3.4.5 直ちに打刻完了をお知らせする	16
3.4.6 時刻表示を変更する	16
4 ピットタッチ・プロ本体の設定 (Web ブラウザからの設定)	17
4.1 設定方法.....	17
4.2 端末設定.....	18
4.3 LAN ポート設定.....	19
4.4 通信モジュール設定.....	19
4.5 無線 LAN モジュール設定.....	20
4.6 プロキシ設定.....	21
4.7 時刻設定.....	22
4.8 端末情報表示.....	23
4.9 コンテンツセット.....	23
4.10 クリア・初期化.....	24
4.11 ファームウェア更新.....	25
4.12 設定パスワード変更.....	26
4.13 イベント・サポートログ.....	26
4.14 再起動・シャットダウン.....	27
5 ピットタッチ・プロ本体の設定 (本体からの設定)	28
5.1 設定方法.....	28
5.2 端末情報表示.....	29
5.3 端末設定.....	30
5.3.1 音量設定	30
5.3.2 明るさ設定	31
5.3.3 ネットワーク設定	31
5.3.4 メインテナンス	38
5.4 再起動.....	40

5.5 シャットダウン	40
5.6 更新	41
5.6.1 ファームウェア更新	41
5.6.2 コンテンツセット更新	42
6 ピットタッチ・プロ本体の設定 (コンテンツセット設定でデフォルト値変更)	43
7 勤怠パッケージの設定	45
8 USB	46
8.1 内部 USB ポート	46
8.1.1 サポートしている通信モジュール	46
8.1.2 サポートしている無線 LAN モジュール	46
8.2 USB ポート	46
9 本体設定値一覧	47
10 勤怠パッケージ設定値一覧	49
10.1 勤怠パッケージ設定値一覧	49
10.2 勤怠パッケージ設定値エラー	52
10.3 音声番号	53
11 検出ログ	54
12 勤怠パッケージで記録するコンソールログ	56
13 カード登録	58
14 用語集	59
15 ライセンスについて	60
15.1 本製品で使用するソフトウェアのライセンスについて	60
15.2 IPA フォントについて	60
16 FAQ	61

1 必ずお読みください

1.1 本書の内容

本書はピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ（以下、「本製品」）の基本的な使い方についてまとめたドキュメントです。製品仕様や基本的な動作については、本製品に付属の「ピットタッチ・プロ 取扱説明書」をご参照ください。



本書は本製品のバージョン 2.0 を対象として記述されています。ご利用の際は、Web 設定ページの端末情報表示 [〈P.23〉](#) または本体の端末情報表示画面 [〈P.29〉](#) で、コンテンツセットバージョンが「BFR-800-CTS-TS-200」と表示されていることを確認してください。
※ファームウェアバージョンではありません。



本製品のバージョン 2.0 は、ピットタッチ・プロ ファームウェアバージョン 2.3 以降で動作します。2.3 より前のファームウェアバージョンでは、本製品は起動しません。

MEMO

本製品のバージョン 2.0 より前のバージョンをご利用で、バージョンアップをご希望のお客様は、販売元へお問い合わせください。

1.2 本書中のマーク説明



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



本製品をお使いいただくうえで重要な事項を記載しています。

MEMO

操作の参考となる情報や、補足説明を記載しています。

1.3 商標などについてのお知らせ

「ピットタッチ」「ピットタッチ・プロ」および PitTouch ロゴは、株式会社ビー・ユー・ジーの登録商標です。

「スマート・サウンド・タッチ」「Smart Sound Touch」「SSTouch」およびスマート・サウンド・タッチのロゴは、株式会社ビー・ユー・ジーの商標または登録商標です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。

「MIFARE」は、NXP セミコンダクターズの登録商標です。

「FOMA」「おサイフケータイ」「Xi (クロッシィ)」は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。

「au」は、KDDI 株式会社の登録商標です。

「SOFTBANK」は、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の商標または登録商標です。

その他の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中に ™ マーク、® マークは明記していません。

1.4 ご利用にあたってのお願い

注意

- 以下の動作中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に AC アダプタを抜かないでください。
 - ・コンテンツセット設定ファイルの更新中
 - ・プロバイダ設定ファイルの更新中
 - ・ファームウェアの更新中
 - ・本製品の再起動中
 - ・本製品のシャットダウン中
- 本製品には、勤怠打刻用のコンテンツセットがあらかじめインストールされています。以下の操作を行うと勤怠打刻の機能が使用できなくなりますので、絶対におやめください。
 - ・勤怠パッケージ以外のコンテンツセットへの更新
 - ・コンテンツセットのクリア万一これらの操作を行ってしまった場合は、販売元へご連絡ください。有償にてコンテンツセットの再インストールを承ります。
- ファームウェアを現在お使いのバージョンより古いバージョンに更新すると、本製品の勤怠打刻機能が正常に動作しなくなることがあります。本製品のバージョンに合わせたファームウェアバージョンでご使用ください。

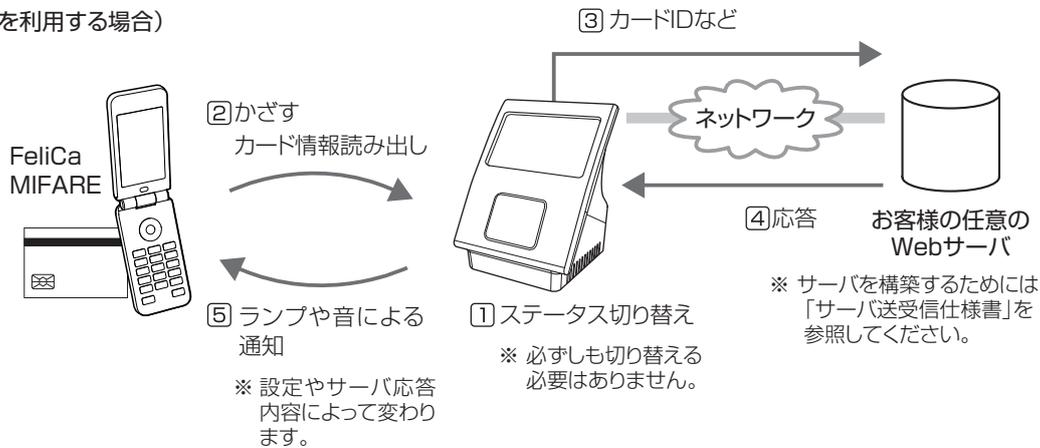
2 はじめに

2.1 概要

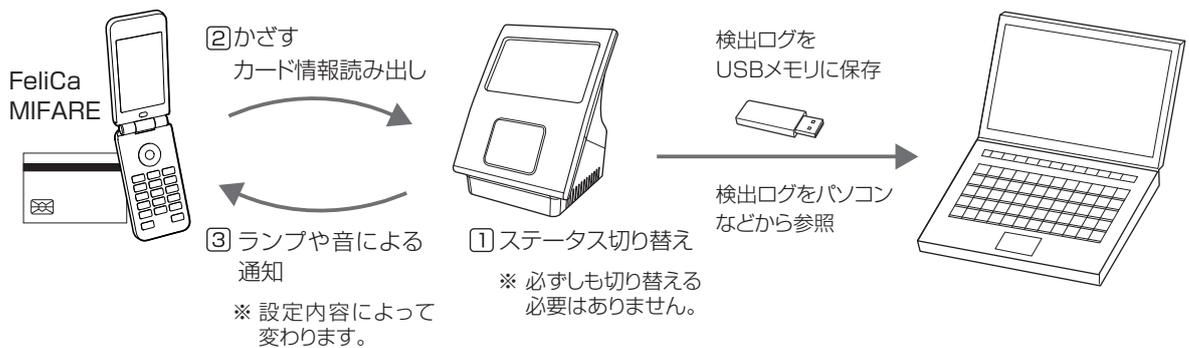
ピットタッチ・プロには、コンテンツプロバイダが開発したコンテンツセットをブラウザベースの実行環境に読み込ませることにより、ユーザーインターフェイス・通信・非接触 ICなどを動作させる機能があります。

本製品には、勤怠打刻端末として動作させるためのコンテンツセットがあらかじめインストールされています。以下のような構成・手順で使用します。

(サーバを利用する場合)



(オフラインモードを利用する場合)



本製品が非接触 IC (FeliCa カード、おサイフケータイまたは MIFARE カード) を検出してカード ID を読み出すと、あらかじめ設定したサーバに対して、そのカード ID などの情報を HTTP 通信またはセキュア対応の HTTPS 通信で送信します。

サーバは通知された情報をもとに返答を作成し、応答します。本製品はその応答によって、メッセージの表示や音声の再生を行います。
※カード ID は FeliCa ID または MIFARE UID となります。

また、設定によって、サーバを利用しないオフラインモードを利用することができます。非接触 IC を検出してカード ID を読み出し、本製品の設定に従って音声の再生を行います。 → [「3.4.1 オフラインで利用する」](#) (P.15)

※カード ID は FeliCa ID または MIFARE UID となります。

●用意していただくもの

以下のものが別途必要です。

- 非接触 IC (FeliCa カード、おサイフケータイまたは MIFARE カード)
- Web サーバ、ソフトウェア (オフラインモードをご利用の場合は不要です。)

Web サーバとして動作するパソコン (サーバ) と、サーバ上で動作する本製品と通信するためのソフトウェアが必要です。

※サーバを構築する際、ソフトウェアは別途お客様にてご用意ください。また、本製品との通信に必要な情報については「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。

2.2 本製品でできること

勤怠パッケージの主な機能は、以下のとおりです。

- ステータスボタン [出勤] [退勤] [休憩] [戻り] / [出勤] [退勤] [外出] [再入室] の切り替え
- 食事予約ボタン [注文しない] [注文する / A] [B] [C] [D] の切り替え
- 非接触 IC [FeliCa のみ] [MIFARE のみ] [FeliCa と MIFARE 両方] の切り替え
- HTTP または HTTPS を使用したサーバ通信（※ HTTP 認証には対応していません。）
- サーバ通信に失敗した場合の再送
- サーバへ送信するクエリのフォーマットの変更
- サーバの応答内容による画面へのメッセージ表示、音声の再生、本体時刻の修正
- コンソールログへの送信ログ表示
- サーバへ送信、またはログに記録するステータス値の変更
- 時間帯に応じたステータスの自動変更
- オフラインモード
- USB メモリへの検出ログ保存
- カード登録、USB メモリへの登録情報出力

ピットタッチ・プロ本体の主な機能は、以下のとおりです。

- ネットワーク通信（LAN / 通信モジュール / 無線 LAN モジュール / プロキシ通信）
- Web 設定ページからの設定変更
- コンテンツセットの更新
- コンテンツセット設定ファイルの更新
- プロバイダ設定ファイルの更新
- ファームウェアの更新

3 使用方法

3.1 画面について

3.1.1 メイン画面



(1) 管理ボタン

管理画面を表示します。管理画面では、打刻データの USB メモリへの保存やカード名の登録ができます。
→ [「3.3 管理画面で打刻データを保存／カード名を登録」〈P.11〉](#)

MEMO

管理画面では勤怠打刻は行えません。

(2) 未送信データ件数

サーバに送信できていない勤怠データの件数が表示されます。未送信データがない場合は何も表示されません。未送信データが 8000 件になると未送信データフル画面が表示されます。

(3) ネットワークアイコン

ネットワークが使用可能な状態かどうかが表示されます。

	接続中	ネットワークを使用できます。
	未接続	ネットワークを使用できません。

(4) ステータスボタン

ステータスを切り替えます。ステータスボタンは 1 つのみ選択できます。

ステータスボタンの数は設定により 4 個、2 個、または 0 個 (表示しない) に変更できます。

4 個に設定した場合は、[出勤] [退勤] [休憩] [戻り] ボタンが表示されるパターンと、[出勤] [退勤] [外出] [再入室] ボタンが表示されるパターンのいずれかを選択できます。2 個に設定した場合は、[出勤] ボタンと [退勤] ボタンが表示されます。

(5) 食事予約ボタン

食事予約の有無、および予約する食事の種類 (A ~ D) を切り替えます。食事予約ボタンはステータスボタンで [出勤] を選択した場合にのみ表示されます。

食事予約ボタンの数は設定により 5 個、4 個、3 個、2 個、または 0 個 (表示しない) に変更できます。2 個に設定した場合は、[注文しない] ボタンと [注文する] ボタンが表示されます。

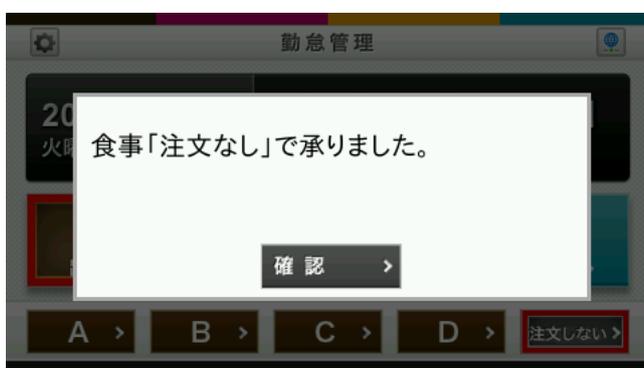
3.1.2 通信中画面



サーバとの通信中に表示されます。通信終了後は以下の各画面が表示されます。

- サーバからの応答にメッセージ表示の指示が含まれている場合 →メッセージ表示画面
- 通信の結果未送信データ件数が 8000 件となった場合 →未送信データフル画面
- 上記以外の場合 →メイン画面

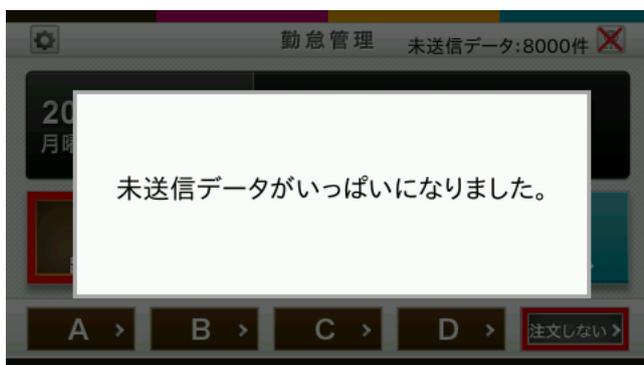
3.1.3 メッセージ表示画面



サーバからの応答にメッセージ表示の指示が含まれている場合に表示されます。(上のメッセージは一例です。)

[確認] ボタンを押すか、「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」(P.49) の [メッセージ表示時間] で設定した時間が経過すると、メイン画面が表示されます。

3.1.4 未送信データフル画面

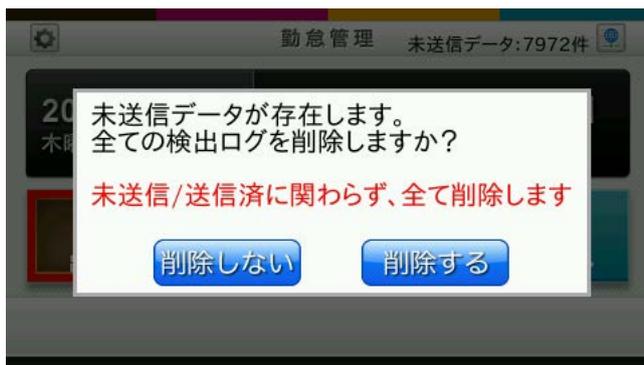


未送信データ件数が 8000 件になると表示されます。この画面が表示されている間は非接触 IC をかざすことができません。未送信データがサーバへ再送されて 8000 件未満になると、メイン画面が表示されます。

MEMO

設定やネットワーク環境を確認してください。サーバ通信が可能になると、未送信データフルの状態が解消されます。未送信データを含むすべての検出ログを削除する場合は、「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」(P.49) の [データベースインデックス] の値を変更してください。なお、検出ログを削除する前に、検出ログを USB メモリに保存することをお勧めします。→「3.3.1 打刻データを USB メモリに保存する」(P.11)

3.1.5 送信データ削除確認画面



未送信データが残っている状態でオフラインモード [〈P.15〉](#) でメイン画面を表示しようとする際に表示されます。
[削除する] ボタンを押すと、本製品に記録されている検出ログをすべて削除してからオフラインモードでの運用を開始します。

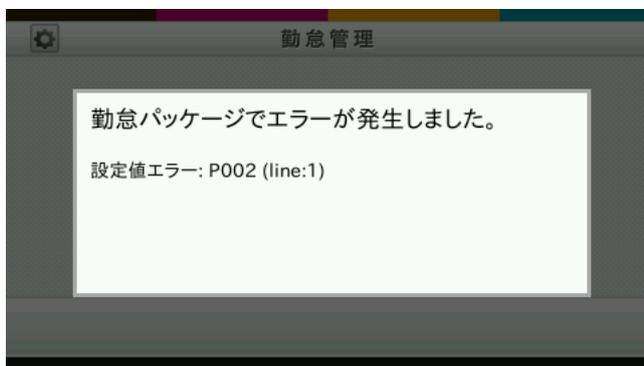
MEMO

オフラインモードでは再送を行わないため、未送信データは残り続けます。この状態で本製品を使用し続けた場合、記録できる検出ログの最大件数が未送信データの数だけ少なくなります。
検出ログを削除しない場合は、オフラインモードを利用しない設定にしたうえで、その他の設定やネットワーク環境を確認してください。サーバ通信が可能になると、未送信データフルの状態が解消されます。

MEMO

検出ログを削除する前に、検出ログを USB メモリに保存することをお勧めします。
→ [「3.3.1 打刻データを USB メモリに保存する」〈P.11〉](#)

3.1.6 エラー画面



勤怠パッケージの設定値が不正であるなどの理由で、勤怠打刻の動作が正常にできない場合に表示されます。
以下のように対処してください。

エラー種別	内容	対処方法
設定値エラー	勤怠パッケージの設定が不正	プロバイダ設定ファイルの設定内容を確認してください。設定値エラーの詳細については、「 10.2 勤怠パッケージ設定値エラー 」 〈P.52〉 を参照してください。
初期設定値エラー	勤怠パッケージの工場出荷時設定が不正	本製品を再起動してください。再起動後も同じエラーが続けて表示される場合は販売元へご連絡ください。
内部エラー	動作時に想定外のエラーを検出	

3.2 使用手順

1. メイン画面のステータスボタン [〈P.8〉](#) を押します。ステータスボタンの選択状態が切り替わります。
2. 本製品の非接触 IC 読み取り部に、非接触 IC (FeliCa カード、おサイフケータイまたは MIFARE カード) をかざします。
※おサイフケータイをかざす場合は、IC カードロックが解除されていることを最初に確認してください。
※FeliCa カードまたはおサイフケータイの FeliCa マークを、本製品の非接触 IC 読み取り部の中心に当て、ランプが点灯するまでかざし続けてください。
3. 本製品が非接触 IC (FeliCa カード、おサイフケータイまたは MIFARE カード) のカード ID を読み取り、読み取った情報を設定に従ってサーバに通知します。
4. サーバからの応答によって、画面へのメッセージ表示、音声再生、本体時刻の修正が行われます。
※サーバからの応答および実行される動作についての詳細は、サーバを提供している事業者に確認してください。

3.3 管理画面で打刻データを保存／カード名を登録

メイン画面の管理ボタン [〈P.8〉](#) を押すと、管理画面が表示されます。各ボタンを選択し、打刻データ (検出ログ) の USB メモリへの保存や、カード名の登録を行います。



MEMO

管理画面および他の画面で [終了] ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

3.3.1 打刻データを USB メモリに保存する

非接触 IC を本製品にかざすと、検出ログが記録されます。本製品に記録された検出ログを USB メモリに保存し、パソコンなどから参照できます。

管理画面で [検出ログ] ボタンを押すと、検出ログ画面が表示されます。指定した期間内に検出・記録した検出ログを、検出ログファイルとして USB メモリに保存できます。

検出ログおよび検出ログファイルの内容については「[11 検出ログ](#)」[〈P.54〉](#) を参照してください。



保存開始日 指定した日付以降に検出・記録したログを保存します。管理画面から検出ログ画面を表示した時点では、前月の1日の日付が表示されています。

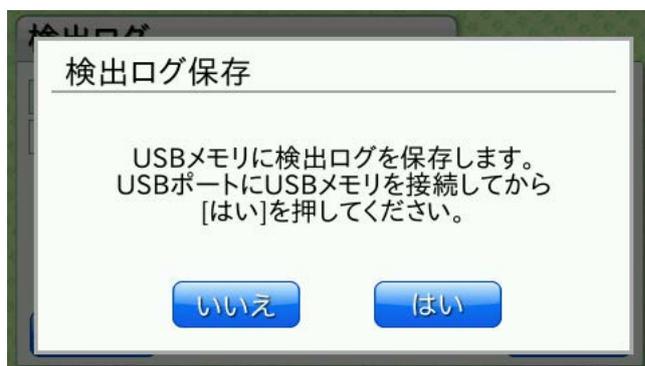
保存終了日 指定した日付以前に検出・記録したログを保存します。管理画面から検出ログ画面を表示した時点では、現在の日付が表示されています。

それぞれの項目で [変更] ボタンを押すと、日時設定画面が表示されます。



日付の設定後 [設定] ボタンを押すと、日付が反映され、検出ログ画面に戻ります。

検出ログ画面で [保存] ボタンを押すと、検出ログ保存画面が表示されます。



USB メモリに検出ログを保存する場合は、USB ポートに USB メモリを接続し、[はい] ボタンを押します。検出ログファイルが USB メモリに保存されます。

MEMO

検出ログファイルは、USB メモリ内のルートフォルダに以下のようなファイル名で保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きされます。

〈端末 ID〉_〈現在の年月日〉_〈現在の時分秒〉.csv (例: 01234567_20120905_132015.csv)

検出ログファイルのフォーマットについては [「11 検出ログ」\(P.54\)](#) を参照してください。

MEMO

検出ログファイルの作成日時および上書きする際の更新日時には、UTC 時間を採用しています。

3.3.2 カードの名前を登録する

非接触 IC ごとに名前を登録することができます。登録名はサーバへ送信することができ、また検出ログにも記録されます。

管理画面で [カード登録] ボタンを押すと、カード登録画面が表示されます。

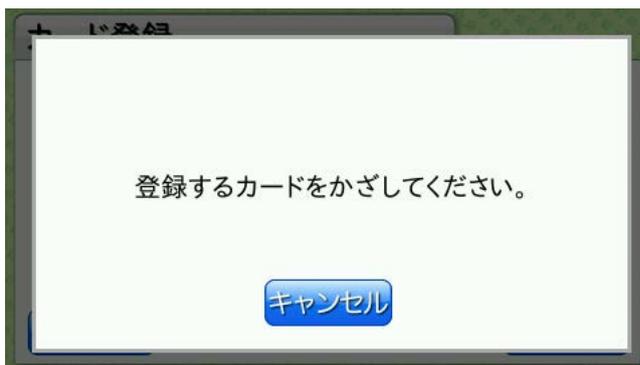
非接触 IC を本製品にかざして個別に登録したり、USB メモリに保存したカード登録情報ファイルを使って一括登録したり、本製品に登録済みの情報を USB メモリへ出力したりすることができます。

登録名およびカード登録情報ファイルの内容については「13 カード登録」(P.58) を参照してください。



■登録

カード登録画面で [登録] ボタンを押すと、次の画面が表示され、ピットタッチ・プロ本体の非接触 IC 読み取り部のランプが点滅します。



登録する非接触 IC をピットタッチ・プロ本体の非接触 IC 読み取り部の中心に当て、ランプの点滅パターンが変わるまでかざし続けてください。非接触 IC を検出すると音が鳴り、登録名入力画面が表示されます。



名称を入力後 [OK] ボタンを押すと、登録が実行されます。

MEMO

登録名には 1 文字以上入力してください。同じ登録名を複数の非接触 IC に登録できます。

MEMO

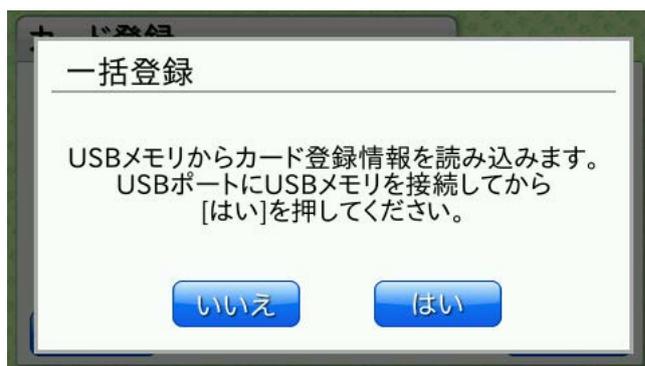
非接触 IC は 300 件まで登録できます。300 件を超えて登録するとエラーになります。

MEMO

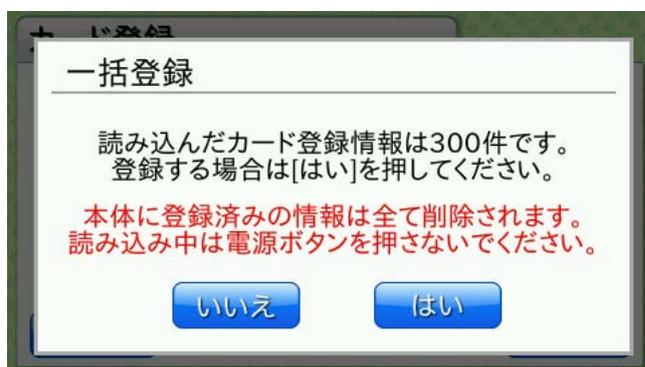
かざした非接触 IC がすでに登録済みの場合、登録名入力画面に登録済みの名称が表示されます。必要に応じて変更してください。

■一括登録

カード登録画面で [一括登録] ボタンを押すと、一括登録画面が表示されます。



USBメモリから本製品にカード登録情報を読み込む場合は、ルートフォルダにカード登録情報ファイル（ファイル名「cardinfo.csv」）を保存したUSBメモリをUSBポートに接続し、[はい] ボタンを押します。ファイルが正しければ、次の確認画面が表示されます。



登録件数を確認し、[はい] ボタンを押します。本製品に登録されているカード登録情報が置き換わります。



一括登録を行うと、本体に登録済みの情報はすべて削除されます。



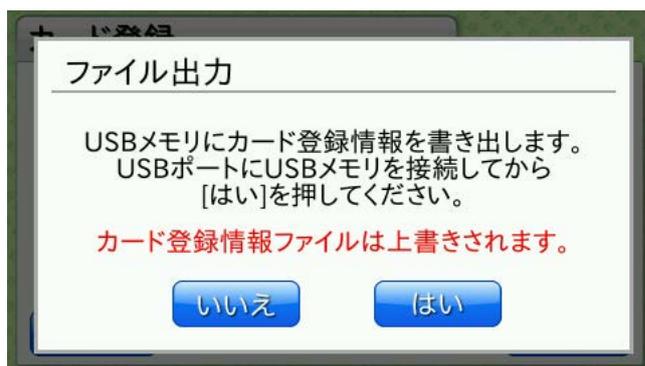
カード登録情報の読み込み中に電源ボタンを押すと、正しく登録されないことがあります。カード登録情報の読み込み中は、電源ボタンを押さないでください。

カード登録情報ファイルが不正な場合はエラーになります。ファイルを修正し、再度登録を行ってください。

→ [「13 カード登録」〈P.58〉](#)

■ファイル出力

カード登録画面で [ファイル出力] ボタンを押すと、ファイル出力画面が表示されます。



USBメモリにカード登録情報を書き出す場合は、USBポートにUSBメモリを接続し、[はい] ボタンを押します。カード登録情報ファイルがUSBメモリに保存されます。

MEMO

カード登録情報ファイルはUSBメモリ内のルートフォルダにファイル名「cardinfo.csv」として保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きされます。

MEMO

カード登録情報ファイルの作成日時および上書きする際の更新日時には、UTC時間を採用しています。

MEMO

本体に登録されているカード登録情報を削除・変更するには、USBメモリに書き出したファイルをパソコンなどで編集して、一括登録を行ってください。 → [「一括登録」〈P.14〉](#)
カード登録情報ファイルのフォーマットについては [「13 カード登録」〈P.58〉](#) を参照してください。

3.4 便利な機能

本製品では勤怠管理を行ううえで便利な機能を用意しています。

3.4.1 オフラインで利用する

設定を変更することで、サーバとの通信を行わず、ログの記録のみを行うオフラインモードを利用できます。

→ [「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.49〉](#) の [オフラインモード]

検出ログのUSBメモリ保存機能と併用することで、サーバを使わずに運用することができます。

→ [「3.3.1 打刻データをUSBメモリに保存する」〈P.11〉](#)

MEMO

オフラインモードでは、未送信データが残っていてもサーバへ送信されません。この状態でメイン画面を表示すると送信データ削除確認画面が表示されます。 → [「3.1.5 送信データ削除確認画面」〈P.10〉](#)

3.4.2 ステータス値を変更する

打刻ステータスごとにサーバへ送信する値をご利用のシステムに合わせて変更することができます。

→ [「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.49〉](#)の [ステータス値設定]

例えば、[退勤] ステータス選択時にサーバへ送信する値は初期値では「2」ですが、設定を変更し、「4」など他の値に変えることができます。

MEMO

検出ログに記録されるステータス値も設定に従って変更されます。ただし、設定変更前の検出ログデータは変更されません。

3.4.3 時間帯に応じて打刻ステータスを自動で変更する

特定の時間帯になると打刻ステータスを自動で変更することができます。

時間帯は2つまで設定することができます。2つの時間帯を重複して設定することはできません。

→ [「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.49〉](#)の [ステータス自動変更設定]

例えば、9:00～11:00は [出勤] に、17:00～22:00は [退勤] に変更する、といった設定ができます。

以下のタイミングで自動的にステータスが変わります。

- 時間帯内に管理画面などから戻り、メイン画面を表示するとき
- メイン画面で時間が経過し、設定した時間帯に入ったとき
- 時間帯内で打刻処理が終了したとき
- 時間帯内にステータスを手動で変更したあと、ステータスボタンまたは食事予約ボタンが1分間押されなかったとき

3.4.4 一時的なネットワーク障害発生時に対応する

あらかじめ再送する設定としておくと、ネットワーク障害などによりサーバから正しく応答が得られなかった場合に再送を試みます。

→ [「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.49〉](#)の [再送設定]

さらに、そのような場合に本製品に設定された音声を再生する、代理応答機能があります。

→ [「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.49〉](#)の [代理応答設定]

これらの機能によって、一時的なネットワーク障害が発生してもユーザーに対して直ちに打刻完了を通知し、後ほど再送によってサーバ通信を行うことができます。

なお、代理応答設定はサーバから未対応フォーマット応答を受信した場合にも使用されます。

再送機能、代理応答機能の詳細は「ビットタッチ・プロ 勤怠パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。

3.4.5 直ちに打刻完了をお知らせする

ネットワーク環境によってはサーバ通信の完了に時間がかかり、ユーザーへの打刻完了通知が遅れることがあります。

再送機能と代理応答機能を利用し、さらに設定 [再送接続タイムアウト] を0に設定することで、ユーザーに対して直ちに打刻完了を通知し、後ほど再送によってサーバ通信を行うことができます。

→ [「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.49〉](#)の [再送設定]、[代理応答設定]

再送機能、代理応答機能の詳細は「ビットタッチ・プロ 勤怠パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。

3.4.6 時刻表示を変更する

メイン画面で表示する時刻を12時間表示、24時間表示のどちらかに設定できます。

→ [「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.49〉](#)の [時刻表示]

4 ピットタッチ・プロ本体の設定（Web ブラウザからの設定）

ピットタッチ・プロ本体の設定は、Web ブラウザから Web 設定ページにアクセスして行います。Web 設定ページにアクセスするには、設定パスワードの入力が必要です。

対応 OS、ブラウザについて

OS : Windows 7 Professional、ブラウザ : Microsoft Internet Explorer 8.0 の組み合わせで動作確認をしています。その他の組み合わせについては動作の保証ができませんので、ご了承ください。

Windows 7 Professional で表示できる文字のうち、本製品に設定できない文字があります。

設定ページでは、JavaScript を使用しています。設定の際は、ブラウザの JavaScript 機能を ON にしてください。



通信モジュールをご利用の場合、通信網から Web 設定ページへのアクセスはできません。Web 設定ページは LAN 接続または無線 LAN 接続にてご利用ください。

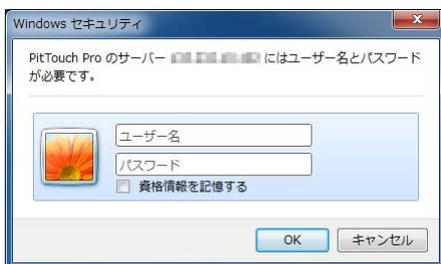
Web 設定ページで設定および確認できる内容は、以下のとおりです。

- 音量設定／明るさ設定／ファームウェア自動更新設定／コンテンツセット自動更新設定
- LAN ポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線 LAN モジュール設定
- プロキシ設定
- 時刻設定
- 端末情報表示／ネットワーク情報表示／プロキシ設定表示
- コンテンツセット更新／コンテンツセット設定ファイル更新／プロバイダ設定ファイル更新／コンソールログ表示・削除
- 設定初期化／コンテンツセットクリア
- ファームウェア更新
- 設定パスワード変更
- イベントログ表示／サポートログ取得・削除
- 再起動・シャットダウン

4.1 設定方法

本製品を Web ブラウザから設定するには、以下の手順で操作します。

1. 本製品の IP アドレスを確認します。 → [\[4.8 端末情報表示\] <P.23>](#)
2. 本製品と通信ができるように、パソコンのネットワークの設定を行います。
3. パソコンの Web ブラウザを起動し、URL の入力欄に手順 1 で確認した IP アドレスを入力します。
4. ログインダイアログが表示されます。[ユーザ名] に「admin」、[パスワード] に設定パスワードを入力します。



※工場出荷時に設定されている設定パスワードは「0000」です。コンテンツセット設定によりパスワードが設定されている場合は、設定の初期化を行っても工場出荷時の設定にはなりません。 → [「6 ピットタッチ・プロ本体の設定（コンテンツセット設定でデフォルト値変更）」 <P.43>](#)



お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、お客様自身がパスワードをクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。万一忘れてしまった場合は、販売元へご連絡ください。有償にてパスワードのクリアを承ります。

5. Web 設定ページが開きます。

以降、左側のメニューから目的の機能を選択して設定を行います。

4.2 端末設定

音量と液晶タッチパネルの明るさを設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。ただし、音声再生中の音量は変更されません。

▼音量設定

本体音量	本体の音量を設定します。(SSTouch 音、強制シャットダウン音を除く。)
キーボード操作音	キーボード (別売) の操作音を設定します。本製品ではキーボードを使用しません。
SSTouch 音量	SSTouch の音量を設定します。本製品では SSTouch を使用しません。

▼明るさ設定

明るさ	液晶タッチパネルの明るさを設定します。
-----	---------------------

▼自動更新設定

ファームウェア自動更新	本製品ではこの機能を使用できません。「しない」を選択してください。
コンテンツセット自動更新	本製品ではこの機能を使用できません。「しない」を選択してください。

4.3 LANポート設定

LANポートに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。

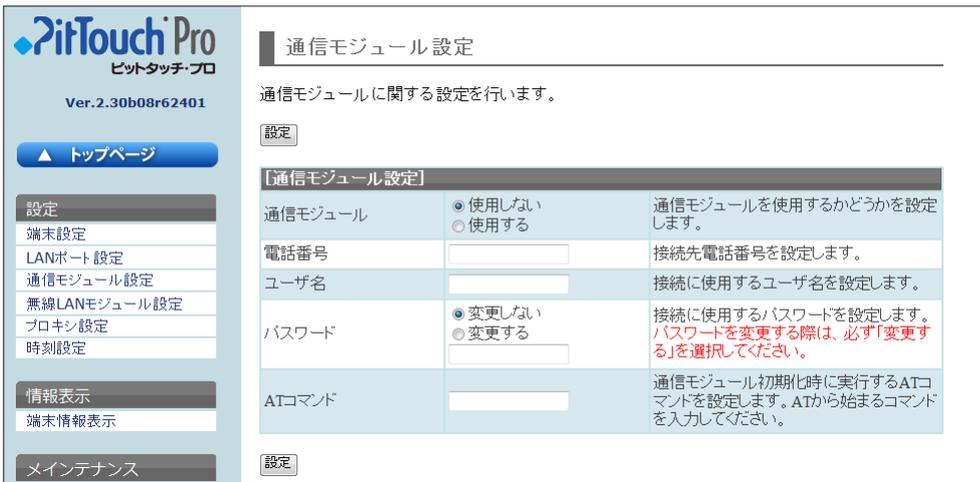


▼ IP アドレス設定

IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCPを使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

4.4 通信モジュール設定

通信モジュールに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。



▼通信モジュール設定

通信モジュール	通信モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、常時接続になります。通信データサイズが大きくなる場合がありますので、パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。
電話番号	接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	接続に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	接続に使用するパスワードを設定します。変更する場合は「変更する」を選択します。 ※すでにパスワードが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
AT コマンド	通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。通信モジュール使用の際に指定がなければ、特に設定する必要はありません。

4.5 無線 LAN モジュール設定

無線 LAN モジュールに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。

The screenshot shows the '無線LANモジュール設定' (Wireless LAN Module Settings) screen. It includes sections for: [無線LANモジュール設定] (Wireless LAN Module Settings), [セキュリティ設定] (Security Settings), [WEP設定] (WEP Settings), [WPA/WPA2パーソナル設定] (WPA/WPA2 Personal Settings), and [IPアドレス設定] (IP Address Settings). Each section contains radio buttons for '使用する' (Use) or '使用しない' (Do not use), and input fields for SSID, WEP key, WPA common key, and various IP addresses. A '設定' (Settings) button is at the bottom.

▼無線 LAN モジュール設定

無線 LAN モジュール	無線 LAN モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。
SSID	無線アクセスポイントに設定されている SSID を、32 文字以内の半角英数字・記号で設定します。

▼セキュリティ設定

認証・暗号化	認証・暗号化の方式をプルダウンメニューから選択します。
使わない	認証も暗号化も使用しません。
WEP	認証方式は Open System、暗号化方式は WEP を使用します。
WPA パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES (無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別) を使用します。
WPA2 パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES (無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別) を使用します。



WEP 暗号化で Shared Key 認証を行うことはできません。WEP を使用する場合は接続先のアクセスポイントの設定で Open System 認証を許可するように設定してください。

▼ WEP 設定

WEP キー	[セキュリティ設定] の [認証・暗号化] で [WEP] を選択した場合に、WEP キーを設定します。変更するときは「変更する」を選択し、5 文字か 13 文字の半角英数字・記号、または 10 桁か 26 桁の 16 進数を入力します。「WEP」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、「WEP」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※すでに WEP キーが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
--------	---

▼ WPA/WPA2 パーソナル設定

WPA 共有キー	[セキュリティ設定] の [認証・暗号化] で [WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] を選択した場合に、WPA 共有キーを設定します。変更するときは「変更する」を選択し、8 ~ 63 文字の半角英数字・記号、または 64 桁の 16 進数を入力します。「WPA パーソナル」[WPA2 パーソナル] を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、「WPA パーソナル」[WPA2 パーソナル] 以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※すでに WPA 共有キーが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
----------	--

▼ IP アドレス設定

※無線 LAN モジュールを使用する場合の IP アドレス設定です。LAN ポートの IP アドレス設定については、[\[4.3 LAN ポート設定\] <P.19>](#) を参照してください。

IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCP を使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

4.6 プロキシ設定

プロキシに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

プロキシ設定

プロキシに関する設定を行います。

設定

[プロキシ設定]

プロキシ機能	<input type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する	プロキシを使用するかどうかを設定します。
サーバ名	<input type="text"/>	プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。
ポート番号	<input type="text"/>	プロキシサーバのポート番号を設定します。
認証ユーザ名	<input type="text"/>	プロキシ認証が必要な場合のユーザ名を設定します。
認証パスワード	<input type="text"/> <input type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する	プロキシ認証が必要な場合のパスワードを設定します。 パスワードを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。

設定

▼プロキシ設定

プロキシ機能	プロキシを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、コンテンツセットや各種自動更新時に行う通信がインターフェイスに関わらずプロキシ経由となります。
サーバ名	[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
ポート番号	[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのポート番号を設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
認証ユーザ名	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するユーザ名を設定します。
認証パスワード	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するパスワードを設定します。変更するときは「変更する」を選択します。 ※すでに認証パスワードが設定されていても、入力欄には何も表示されません。

4.7 時刻設定

時刻に関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

The screenshot shows the '時刻設定' (Time Setting) page in the PitTouch Pro interface. The page title is '時刻設定' and it includes a sub-header '時刻の設定を行います。' (Set the time). There are three main sections: 1. '自動時刻合わせ設定' (Automatic Time Synchronization Setting) with a field for 'NTPサーバ名' (NTP Server Name) set to 'ntp.jst.mfeed.ad.jp'. 2. '手動時刻設定' (Manual Time Setting) with a '現在時刻' (Current Time) of '2012/02/13 15:36:39' and a '手動設定' (Manual Setting) field also set to '2012/02/13 15:36:39'. 3. 'パソコンの時刻から設定' (Set from PC Time) with a 'パソコンの時刻から設定' (Set from PC Time) field set to '2012/02/13 15:36:42'. Each field has a '設定' (Set) button. The interface also shows a sidebar with navigation options like '設定' (Settings), '端末設定' (Terminal Settings), and '情報表示' (Information Display).

▼自動時刻合わせ設定

NTPサーバ名 NTPサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。この項目を設定すると、設定後または起動後にNTPサーバに接続し、時刻が設定されます。以降、24時間ごとにNTPサーバに時刻を問い合わせます。

MEMO

NTPサーバへの接続に失敗した場合は、1時間後に再度問い合わせます。
通信モジュールや無線LANモジュールでネットワークを利用している場合、起動直後はNTPサーバに接続できないことがあります。

▼手動時刻設定

現在時刻 現在設定されている時刻が表示されます。(このページを開いた時点の時刻が表示され、更新されません)
手動設定 「年/月/日 時:分:秒 (YYYY/MM/DD hh:mm:ss)」の形式で時刻を入力します。
設定できる範囲は、2010年1月1日0時0分0秒 (2010/01/01 00:00:00) から2037年12月31日23時59分59秒 (2037/12/31 23:59:59) までです。

▼パソコンの時刻から設定

パソコンの時刻から設定 使用しているWebブラウザのJavaScriptがONの場合、パソコンの時刻が表示されます。



重要

本製品は時刻情報のバックアップにコンデンサを採用しています。そのため、給電されない状態が5日間程度(※)続くと、時刻情報がリセットされます。リセットされると時刻情報は「2001/1/1 09:00:00」になります。
また、時刻情報の精度は平均月差±60秒(※)です。
※使用状況や環境により異なります。

4.8 端末情報表示

端末、ネットワーク、プロキシに関する内容を確認できます。



Ver.2.30b08r62401

▲ トップページ

設定

- 端末設定
- LANポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線LANモジュール設定
- プロキシ設定
- 時刻設定

情報表示

- 端末情報表示

メンテナンス

- コンテンツセット
- クリア・初期化
- ファームウェア更新
- 設定パスワード変更
- イベント・サポートログ
- 再起動・シャットダウン

BUG
SAPPORO JAPAN

端末情報表示

[端末情報]	
端末ID	XXXXXXXXXX
MACアドレス	XXXXXXXXXX
MACアドレス(無線LAN)	
ファームウェアバージョン	2.30b08r62401
keypadバージョン	
コンテンツセットバージョン	BFR-800-CTS-TS-200
[ネットワーク情報]	
インターフェース	LAN
IPアドレス取得方法	自動
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.1
プライマリDNSサーバアドレス	192.168.1.1
セカンダリDNSサーバアドレス	
[プロキシ設定]	
プロキシ機能	使用しない
サーバ名	
ポート番号	
認証ユーザ名	

※プロキシ設定の認証パスワードは表示されません。

4.9 コンテンツセット

コンテンツセット設定ファイルの更新、プロバイダ設定ファイルの更新、コンソールログの表示と削除ができます。



Ver.2.30b08r62401

▲ トップページ

設定

- 端末設定
- LANポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線LANモジュール設定
- プロキシ設定
- 時刻設定

情報表示

- 端末情報表示

メンテナンス

- コンテンツセット
- クリア・初期化
- ファームウェア更新
- 設定パスワード変更
- イベント・サポートログ
- 再起動・シャットダウン

BUG
SAPPORO JAPAN

コンテンツセット

コンテンツセットの更新、設定ファイルの更新、コンソールログの表示と削除を行います。

[更新]	
コンテンツセット	更新 <input type="button" value="参照..."/> ファイルを選択し、更新をクリックしてください。
コンテンツセット設定ファイル	更新 <input type="button" value="参照..."/> ビットタッチ・プロ本体の設定初期値を記述したファイルを登録します。コンテンツセットクリアを行うと、削除されます。
プロバイダ設定ファイル	更新 <input type="button" value="参照..."/> コンテンツセット独自の設定・情報を記述したファイルを登録します。コンテンツセットクリアを行うと、削除されます。ビットタッチ・プロ動態パッケージ向け設定ファイルはこちらから登録してください。

[コンソールログ]

```
送信完了,2012/09/25 12:14:33,FeliCa,XXXXXXXXXX,01,00,200,00,,
http://localhost/s.js:8
2012/09/25 12:15:11,カード登録失敗,登録最大件数超過, http://localhost/s.js:8
2012/09/25 12:15:16,カード登録失敗,登録最大件数超過, http://localhost/s.js:8
2012/09/25 12:16:06,カード登録成功,ID:XXXXXXXXXX,登録名:suzuki,
http://localhost/s.js:8
2012/09/25 12:16:26,カード登録成功,ID:XXXXXXXXXX,登録名:satou,
http://localhost/s.js:8
送信完了,2012/09/25 12:16:35,Mifare1K,XXXXXXXXXX,01,00,200,00,suzuki,
http://localhost/s.js:8
送信完了,2012/09/25 12:16:37,Mifare4K,XXXXXXXXXX,01,00,200,00,satou,
http://localhost/s.js:8
2012/09/25 12:16:48,積出口グ保存成功,63件, http://localhost/s.js:8
2012/09/25 12:16:54,カード登録情報出力成功,300件, http://localhost/s.js:8
```

更新

▼更新

コンテンツセット	コンテンツセットの更新を行います。[参照] ボタンを押してコンテンツセットを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。ファイル名は任意の名前でかまいません。
コンテンツセット設定ファイル	コンテンツセット設定ファイルの更新を行います。[参照] ボタンを押してコンテンツセット設定ファイルを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。ファイル名は任意の名前でかまいません。
プロバイダ設定ファイル	プロバイダ設定ファイルの更新を行います。[参照] ボタンを押してプロバイダ設定ファイルを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。ファイル名は任意の名前でかまいません。

コンテンツセットの更新が開始されても、本体の画面に変化はありません。更新が成功すると、その時点でコンテンツセット画面が表示されていた場合は、強制的にメイン画面に変わります。

コンテンツセットが不正な場合はエラーが表示されます。



本製品には勤怠打刻用のコンテンツセットがあらかじめインストールされています。勤怠打刻の機能が使用できなくなりますので、勤怠パッケージ以外のコンテンツセットへの更新は絶対にしないでください。
万一更新してしまった場合は、販売元へご連絡ください。有償にてコンテンツセットの再インストールを承ります。



コンテンツセット設定ファイルやプロバイダ設定ファイルの更新中に、電源ボタンを10秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源がOFFになり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中にACアダプタを抜かないでください。



以下の事象が発生する可能性がありますので、運用中はコンテンツセットを更新しないことをお勧めします。

- ・コンテンツセットのパフォーマンスが大幅に低下する
- ・操作中の動作がクリアされる
- ・コンテンツセットが扱うデータに不整合が発生する

▼コンソールログ

コンテンツセットから出力したログが表示されます。一番下が新しいログです。

[更新] ボタンを押すとログが更新されます。[削除] ボタンを押すとログが削除されます。

コンソールログは、設定初期化およびコンテンツセットクリアを行っても削除されません。

また、ログが一定量に達すると、新しいログを記録するために古いログが削除されます。

本製品で記録するコンソールログについては、「[12 勤怠パッケージで記録するコンソールログ](#)」(P.56)を参照してください。

4.10 クリア・初期化

設定の初期化やコンテンツセットのクリアを行えます。



▼設定初期化

設定初期化 [設定初期化] ボタンを押すと、確認後に設定の初期化が行われます。

設定初期化に成功すると、本体の画面がメイン画面 (P.8) へ遷移します。

初期化される項目は、以下のとおりです。

- ・各設定値
- ・コンテンツセットで使用しているデータベース (本製品では検出ログ、カード登録情報)
- ・設定パスワード

コンテンツセット設定ファイルがある場合は、ファイルに記述された値に初期化されます。



設定初期化を行うと、元には戻せません。ネットワーク設定も初期化されるので、Web 設定ページに接続できなくなることがあります。



設定初期化を行うと、未送信データを含む検出ログがすべて削除されます。未送信データを再送する必要がある場合は、設定初期化を行わないでください。



設定初期化を行うと、カード登録情報がすべて削除されます。あらかじめ USB メモリへファイル出力しておくことをお勧めします。 → [\[3.3.2 カードの名前を登録する\]](#) (P.13)

▼コンテンツセットクリア

コンテンツセットクリア [コンテンツセットクリア] ボタンを押すと、確認後にコンテンツセットの削除と設定の初期化が行われます。本製品は出荷時に勤怠打刻用コンテンツセットがインストールされているため、コンテンツセットクリアはしないでください。



本製品には勤怠打刻用のコンテンツセットがあらかじめインストールされています。勤怠打刻の機能が使用できなくなりますので、コンテンツセットクリアは絶対にしないでください。
万一クリアしてしまった場合は、販売元へご連絡ください。有償にてコンテンツセットの再インストールを承ります。

4.11 ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新できます。

The screenshot shows the 'ファームウェア更新' (Firmware Update) screen. On the left is a navigation menu with '設定' (Settings) expanded, showing options like '端末設定', 'LANポート設定', etc. The main area has a title 'ファームウェア更新' and a sub-header 'ファームウェア更新処理を行います。' (Performing firmware update processing). A blue box contains instructions: 'ファームウェア更新には10から15分程かかります。ボタンを押した後、更新終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。また、更新中はACアダプタを抜かないでください。' (Firmware update takes about 10 to 15 minutes. After pressing the button, wait for the update completion message. Also, do not remove the AC adapter during the update). Below this is a table for '[ファームウェア更新]' (Firmware Update) with two rows: 'ファームウェア更新' (Firmware Update) and '更新後の処理' (Post-update processing). The 'ファームウェア更新' row has a '参照...' (Reference...) button and a text box '新しいファームウェアファイルを選択してください。' (Select a new firmware file). The '更新後の処理' row has radio buttons for '再起動' (Restart) and 'シャットダウン' (Shutdown).

▼ファームウェア更新

ファームウェア更新 ファームウェアの更新を行います。[参照] ボタンを押してファームウェアを選択し、[ファームウェア更新] ボタンを押して更新を実行します。

更新後の処理 ファームウェア更新が成功した後の動作を選択します。

ファームウェアの更新が開始されると、液晶タッチパネルには更新中である旨メッセージが表示されます。コンテンツセット動作は強制的に中断されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。

更新に成功すると、[更新後の処理] の設定内容にしたがって再起動またはシャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。

ファームウェアの更新によって、使用している設定値やコンテンツセットなどはクリアされません。設定値をクリアしたい場合は、[クリア・初期化] > [設定初期化] にて設定初期化を行います。



ファームウェアの更新を開始してから更新中のメッセージが表示されるまでには、しばらく時間がかかります。その間、コンテンツセットを動作させることができますが、パフォーマンスは大幅に低下します。また、操作中の動作がクリアされてしまうため、操作をしていないときにファームウェアを更新することをお勧めします。



ファームウェアの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



ファームウェアの更新には 10 ~ 15 分程度かかります。[ファームウェア更新] ボタンを押した後、更新終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

4.12 設定パスワード変更

設定パスワードを変更できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

The screenshot shows the '設定' (Settings) menu with '設定パスワード変更' selected. The main content area displays the '設定パスワード変更' screen with instructions and input fields for the current password, new password, and confirmation password.

▼設定パスワード変更

現在の設定パスワード	現在設定されている設定パスワードを入力します。 ※現在設定されている設定パスワードは表示されません。
設定パスワード	新しい設定パスワードを入力します。(半角数字 4 ~ 20 文字まで)
設定パスワード (確認)	確認のため同じ設定パスワードを入力します。



お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、お客様自身がパスワードをクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。万一忘れてしまった場合は、販売元へご連絡ください。有償にてパスワードのクリアを承ります。

4.13 イベント・サポートログ

イベントログ・サポートログを取得できます。

The screenshot shows the 'イベント・サポートログ' screen with three main options: 'イベントログ表示' (Event Log Display), 'サポートログ取得' (Support Log Acquisition), and 'サポートログ削除' (Support Log Deletion). Each option has a corresponding button and a brief description of its function.

▼サポートログ

イベントログ表示	システムで発生した各種ログが表示されます。
サポートログ取得	サポートに送るために必要なサポートログをファイルで取得します。取得したファイルの内容を参照することはできません。
サポートログ削除	サポートログを削除します。イベントログも同時に削除されます。

サポートログは、設定初期化およびコンテンツセットクリアを行っても削除されません。また、イベントログは、ログが一定量に達すると、新しいログを記録するために古いログが削除されます。

MEMO

上記の操作を行うと、一時的にコンテンツセットのパフォーマンスに影響が出る場合があります。

4.14 再起動・シャットダウン

再起動またはシャットダウンができます。



▼再起動・シャットダウン

再起動	[再起動] ボタンを押すと、再起動されます。ファームウェアの更新中などのタイミングでは再起動できません。
シャットダウン	[シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウンの後、電源が OFF になります。ファームウェアの更新中などのタイミングではシャットダウンできません。



再起動中、シャットダウン中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、再起動中、シャットダウン中に AC アダプタを抜かないでください。

5 ピットタッチ・プロ本体の設定（本体からの設定）

一部の操作と簡易な設定は本体の液晶タッチパネルから行えます。操作、設定および確認できる内容は、以下のとおりです。

- ネットワーク情報表示／端末情報表示／プロキシ設定表示
- 音量設定／明るさ設定
- LAN ポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線 LAN モジュール設定
- プロキシ設定
- NTP サーバ設定
- 再起動
- シャットダウン
- ファームウェア更新／ファームウェア自動更新設定／コンテンツセット更新／コンテンツセット自動更新設定
- 設定バックアップ・復元

5.1 設定方法

本体の液晶タッチパネルから設定するには、以下の手順で操作します。

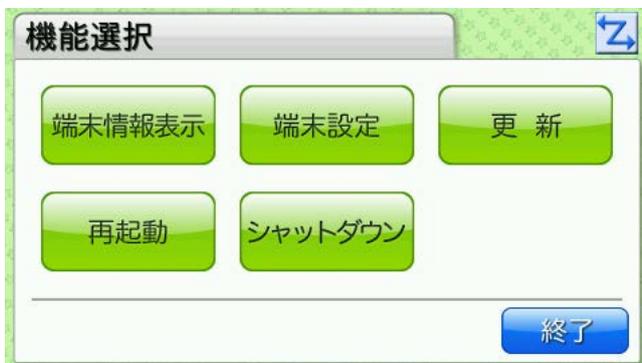
1. 本製品の電源を ON にします。
2. 本製品が利用可能状態になったら、電源ボタンを 2 秒以上押します。



以下の動作中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に AC アダプタを抜かないでください。

- コンテンツセット設定ファイルの更新中
- プロバイダ設定ファイルの更新中
- ファームウェアの更新中
- 本製品の再起動中
- 本製品のシャットダウン中

3. 機能選択画面が表示されます。



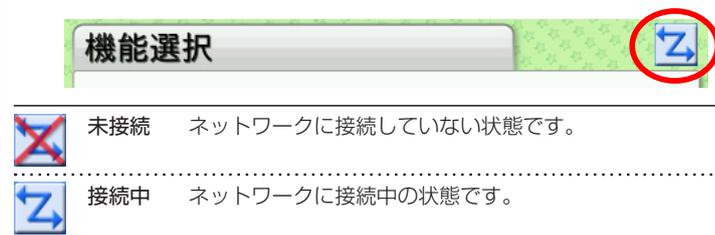
以降、目的の機能のボタンを押して設定を行います。

MEMO

機能選択画面および他の画面で [終了] ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

MEMO

機能選択画面および他の画面の右上には、ネットワークの接続状態を示すアイコンが表示されます。



未接続 ネットワークに接続していない状態です。



接続中 ネットワークに接続中の状態です。

5.2 端末情報表示

機能選択画面で [端末情報表示] ボタンを押すと、端末情報表示画面が表示されます。ネットワーク情報、端末情報およびプロキシ設定を確認できます。

端末情報表示画面には 3 つの画面があり、[◀] ボタンと [▶] ボタンで切り替えられます。



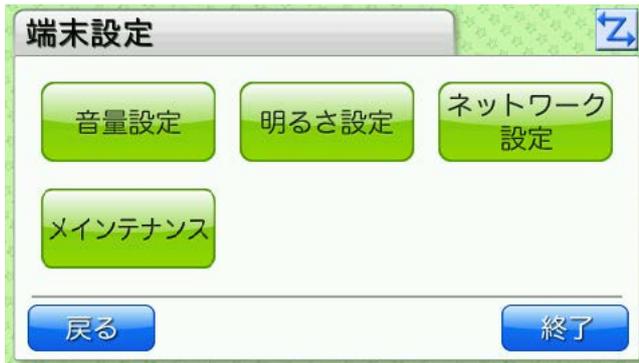
- ※ [端末情報] の [MAC アドレス (無線 LAN)] は、本製品に対応している無線 LAN モジュールが内部 USB ポートに接続されている場合にのみ表示されます。
- ※ [ネットワーク情報] は最新の情報が表示されるまでに時間がかかる場合があります。その場合は、古い情報が表示されることがあります。
- ※ [プロキシ設定] には認証パスワードは表示されません。

MEMO

無線 LAN モジュールを接続後、[端末情報] の [MAC アドレス (無線 LAN)] に「0000.0000.0000.0000」と表示されることがあります。その場合、無線 LAN モジュール設定画面の [リストから選択] ボタン (P.34) を押して無線 LAN アクセスポイントのリストを表示すると、[MAC アドレス (無線 LAN)] が正しく表示されるようになります。

5.3 端末設定

機能選択画面で [端末設定] ボタンを押すと、端末設定画面が表示されます。



[ネットワーク設定] ボタンまたは [メンテナンス] ボタンを押すと、設定パスワード認証画面が表示されます。設定パスワード [〈P.26〉](#) を入力します。



工場出荷時に設定されている設定パスワードは「0000」です。コンテンツセット設定により設定パスワードが設定されている場合は、設定の初期化を行っても工場出荷時の設定にはなりません。 → [「6 ビットタッチ・プロ本体の設定（コンテンツセット設定でデフォルト値変更）」〈P.43〉](#)



お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、お客様自身がパスワードをクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。万一忘れてしまった場合は、販売元へご連絡ください。有償にてパスワードのクリアを承ります。

正しい設定パスワードを入力して [OK] ボタンを押すと、ネットワーク設定画面 [〈P.31〉](#) またはメンテナンス画面 [〈P.38〉](#) が表示されます。

[戻る] ボタンを押すと、端末設定画面が表示されます。

5.3.1 音量設定

端末設定画面で [音量設定] ボタンを押すと、音量設定画面が表示されます。音量を設定できます。



MEMO

本製品ではキーパッドおよび SSTouch を使用しないため、[キーパッド操作音] [SSTouch 音量] の設定は不要です。

5.3.2 明るさ設定

端末設定画面で [明るさ設定] ボタンを押すと、明るさ設定画面が表示されます。液晶タッチパネルの画面の明るさを設定できます。



5.3.3 ネットワーク設定

端末設定画面で [ネットワーク設定] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、ネットワーク設定画面が表示されます。目的の機能のボタンを押して設定を行います。



■ LANポート設定

ネットワーク設定画面で [LANポート設定] ボタンを押すと、LANポート設定画面が表示されます。LANポートに関して設定できます。



IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCP を使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(IP アドレス入力画面の例)

入力後 [OK] ボタンを押すと LAN ポート設定画面に戻ります。

LAN ポート設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

■通信モジュール設定

ネットワーク設定画面で [通信モジュール設定] ボタンを押すと、通信モジュール設定画面が表示されます。通信モジュールに関して設定できます。

通信モジュール 通信モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、常時接続になります。通信データサイズが大きくなる場合がありますので、パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。

電話番号 接続先電話番号を設定します。

ユーザ名 接続に使用するユーザ名を設定します。

パスワード 接続に使用するパスワードを設定します。変更する場合は「変更する」を選択します。現在の設定値は表示されません。

AT コマンド 通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。通信モジュール使用の際に指定がなければ、特に設定する必要はありません。

※ 通信モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。また、32 文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33 文字以上入力したりしたいときは、Web 設定ページから設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(電話番号入力画面の例)



(ユーザ名入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと通信モジュール設定画面に戻ります。
通信モジュール設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

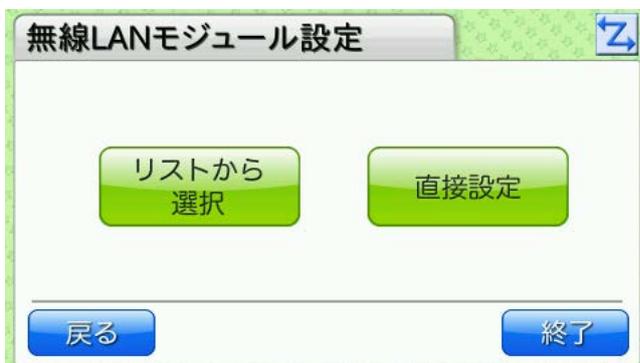
MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

■無線 LAN モジュール設定

ネットワーク設定画面で [無線 LAN モジュール設定] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定 (設定方法の選択) 画面が表示されます。無線 LAN モジュールに関して設定できます。

使用可能な無線 LAN アクセスポイントをリストから選択して設定する場合は [リストから選択] ボタン、SSID や IP アドレスを入力して設定する場合は [直接設定] ボタンを押して設定します。



▼無線 LAN モジュール設定（リストから選択）

無線 LAN モジュール設定（設定方法の選択）画面で [リストから選択] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定（リストから選択）画面が表示されます。

無線 LAN アクセスポイントが検出され、リストが表示されます。検出された無線 LAN アクセスポイントが 1 画面に収まらない場合は、[▲] ボタンと [▼] ボタンで画面を切り替えられます。

設定したい無線 LAN アクセスポイントがリストに表示されていない場合は、[リストを更新] ボタンを押すと無線 LAN アクセスポイントが再検出されます。



リストには、無線 LAN アクセスポイントの SSID と認証・暗号化方式が表示されます。

- ・認証・暗号化方式が「WEP/WPA パーソナル /WPA2 パーソナル」の場合
アクセスポイントを選択して [設定] ボタンを押すと、認証キー入力画面が表示されます。
(WPA 共有キー入力画面の例)



認証キーを入力後 [OK] ボタンを押すと、設定が反映され、端末設定画面に戻ります。

※認証キー入力画面では一部の記号が入力できません。また、32 文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33 文字以上入力したりしたいときは、Web 設定ページから設定してください。

- ・認証・暗号化方式が [なし] の場合
アクセスポイントを選択して [設定] ボタンを押すと、設定が反映され、端末設定画面に戻ります。
- ・認証・暗号化方式が [未対応] の場合
アクセスポイントが選択できません。

MEMO

ステルスモードの無線 LAN アクセスポイントや Any 接続拒否が設定された無線 LAN アクセスポイントは、リストに表示されないことがあります。

MEMO

無線 LAN アクセスポイントをリストから選択して設定を行うと、自動的に以下のように設定されます。

- ・無線 LAN モジュール：使用する
- ・IP アドレス取得方法：自動

IP アドレスの設定などを変更したい場合は、直接設定 [〈P.35〉](#) から設定してください。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

▼無線 LAN モジュール設定（直接設定）

無線 LAN モジュール設定画面（設定方法選択画面）で [直接設定] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定（直接設定）画面が表示されます。

無線 LAN モジュール設定（直接設定）画面には 3 つの画面があり、[◀] ボタンと [▶] ボタンで切り替えられます。



無線LANモジュール設定

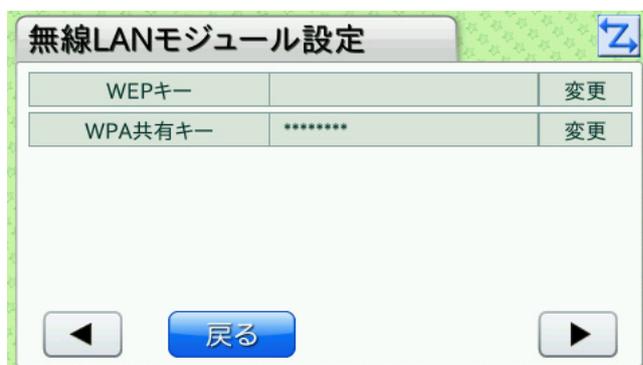
無線LANモジュール	<input type="checkbox"/> 使用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
SSID		変更
認証・暗号化	<input checked="" type="checkbox"/> 使わない	
	<input type="checkbox"/> WEP	
	<input type="checkbox"/> WPAパーソナル	
	<input type="checkbox"/> WPA2パーソナル	

戻る ▶

無線 LAN モジュール	使用する場合は「使用する」を選択します。
SSID	無線アクセスポイントに設定されている SSID を、32 文字以内の半角英数字・記号で設定します。 ※無線 LAN モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web 設定ページから設定してください。
認証・暗号化	認証・暗号化の方式を選択します。
使わない	認証も暗号化も使用しません。
WEP	認証方式は Open System、暗号化方式は WEP を使用します。
WPA パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES（無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別）を使用します。
WPA2 パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES（無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別）を使用します。



WEP 暗号化で Shared Key 認証を行うことはできません。WEP を使用する場合は接続先のアクセスポイントの設定で Open System 認証を許可するように設定してください。



無線LANモジュール設定

WEPキー		変更
WPA共有キー	*****	変更

◀ 戻る ▶

WEP キー	[認証・暗号化] で「WEP」を選択した場合に、WEP キーを設定します。5 文字か 13 文字の半角英数字・記号、または 10 桁か 26 桁の 16 進数を入力します。「WEP」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。また、「WEP」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※無線 LAN モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web 設定ページから設定してください。
WPA 共有キー	[認証・暗号化] で「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」を選択した場合に、WPA 共有キーを設定します。8 ~ 32 文字の半角英数字・記号を入力します。「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。また、「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※無線 LAN モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。また、32 文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33 文字以上入力したりしたいときは、Web 設定ページから設定してください。



※無線 LAN モジュールを使用する場合の IP アドレス設定です。LAN ポートの IP アドレス設定については、「[LAN ポート設定](#)」(P.31) を参照してください。

IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCP を使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバ アドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバ アドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(SSID 入力画面の例)



(IP アドレス入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと、それぞれの設定画面に戻ります。IP アドレス設定の画面にある [設定] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定のすべての設定が反映されます。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

■プロキシ設定

ネットワーク設定画面で [プロキシ設定] ボタンを押すと、プロキシ設定画面が表示されます。プロキシに関して設定できます。

プロキシ機能	プロキシを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、コンテンツセットや各種自動更新時に行う通信がインターフェイスに関わらずプロキシ経由となります。
サーバ名	[プロキシ機能]で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのホスト名またはIPアドレスを設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※プロキシ設定画面から設定する場合、32文字までしか入力できません。33文字以上入力したいときは、Web設定ページから設定してください。
ポート番号	[プロキシ機能]で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのポート番号を設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
認証ユーザ名	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するユーザ名を設定します。 ※プロキシ設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web設定ページから設定してください。
認証パスワード	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するパスワードを設定します。 ※プロキシ設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web設定ページから設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(サーバ名入力画面の例)

(ポート番号入力画面の例)

入力後 [OK] ボタンを押すと、プロキシ設定画面に戻ります。プロキシ設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

■ NTP サーバ設定

ネットワーク設定画面で [NTP サーバ設定] ボタンを押すと、NTP サーバ設定画面が表示されます。NTP サーバに関して設定できます。



NTP サーバ名 NTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。この項目を設定すると、設定後または起動後に NTP サーバに接続し、時刻が設定されます。以降、24 時間ごとに NTP サーバに時刻を問い合わせます。
※ NTP サーバ設定画面から設定する場合、32 文字までしか入力できません。33 文字以上入力したいときは、Web 設定ページから設定してください。

[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。
(NTP サーバ名入力画面の例)



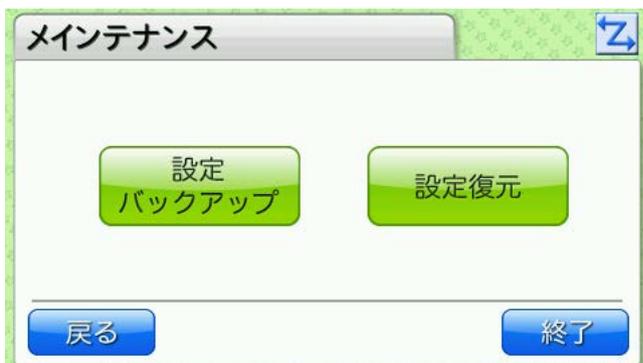
入力後 [OK] ボタンを押すと、NTP サーバ設定画面に戻ります。NTP サーバ設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

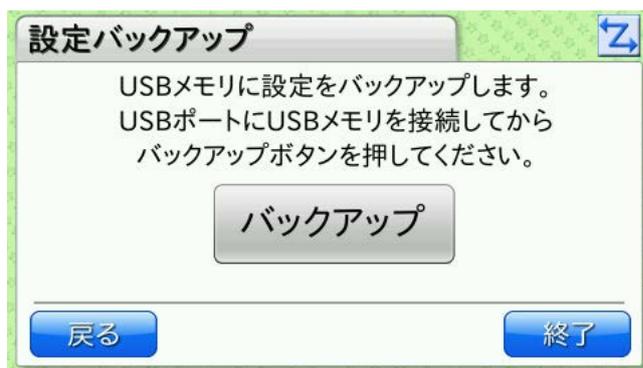
5.3.4 メインテナンス

端末設定画面で [メンテナンス] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、メンテナンス画面が表示されます。USB メモリへの設定のバックアップおよび USB メモリからの設定の復元ができます。



▼設定バックアップ

メンテナンス画面で「設定バックアップ」ボタンを押すと、設定バックアップ画面が表示されます。



USBメモリに現在の設定値をバックアップする場合は、USBポートにUSBメモリを接続し、「バックアップ」ボタンを押します。バックアップファイルがUSBメモリに保存されます。

以下の設定がバックアップされます。

- 端末設定（音、明るさ、自動更新）
- LANポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線LANモジュール設定
- プロキシ設定
- 時刻設定
- 設定パスワード



重要

以下の設定および情報はバックアップされません。

- コンテンツセット設定ファイル
- プロバイダ設定ファイル
- ファームウェア更新確認サーバURL
- コンテンツセット更新確認サーバURL
- 端末設定パスワード認証
- 検出ログ
- カード登録情報
- コンソールログ



重要

バックアップファイルは変更しないでください。設定を復元できなくなります。

MEMO

バックアップファイルはUSBメモリ内のルートフォルダにファイル名「PitTouchPro.set」として保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きします。

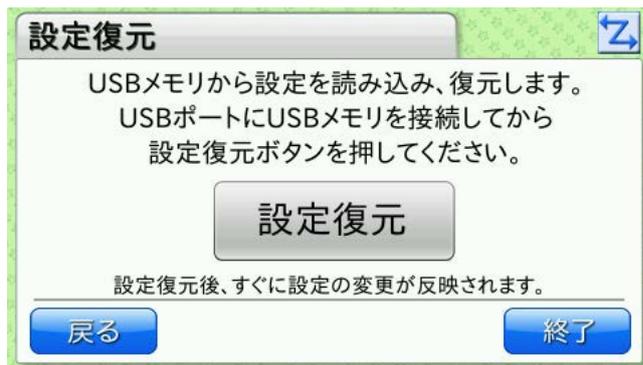
また、バックアップファイルは暗号化されているため、お客様が内容を参照することはできません。

MEMO

バックアップファイルの作成日時および上書きする際の更新日時には、UTC時間を採用しています。

▼設定復元

メンテナンス画面で「設定復元」ボタンを押すと、設定復元画面が表示されます。



USBメモリから設定値を読み込んで本製品に復元する場合は、バックアップファイルを保存したUSBメモリをUSBポートに接続し、「設定復元」ボタンを押します。

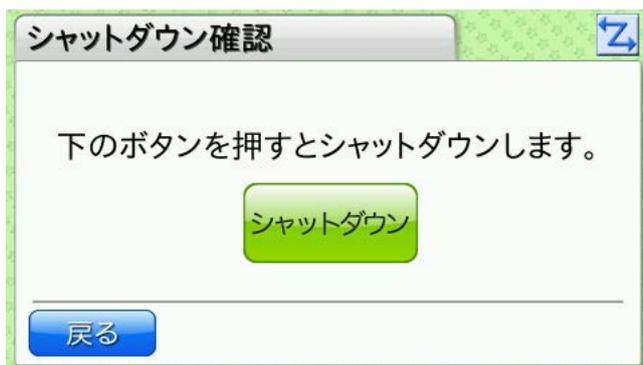


バックアップファイルは変更しないでください。設定を復元できなくなります。

重要

5.4 再起動

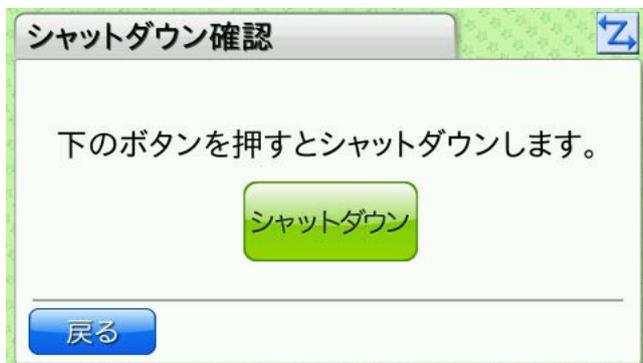
機能選択画面で「再起動」ボタンを押すと、再起動確認画面が表示されます。



「再起動」ボタンを押すと再起動されます。

5.5 シャットダウン

機能選択画面で「シャットダウン」ボタンを押すと、シャットダウン確認画面が表示されます。



「シャットダウン」ボタンを押すと、シャットダウン動作が行われ、電源がOFFになります。

5.6 更新

機能選択画面で [更新] ボタンを押すと、更新画面が表示されます。

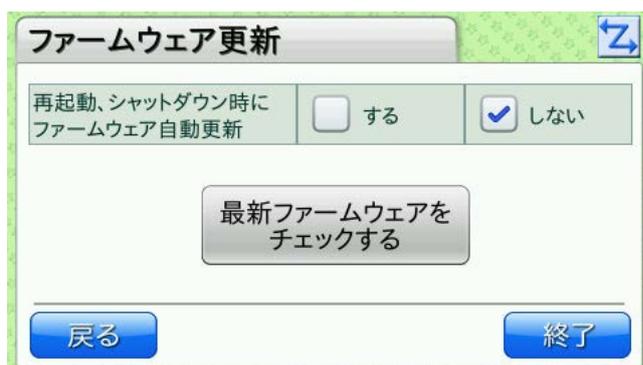


本製品では、更新画面からのファームウェア更新およびコンテンツセット更新はできません。



5.6.1 ファームウェア更新

更新画面で [ファームウェア更新] ボタンを押すと、ファームウェア更新画面が表示されます。

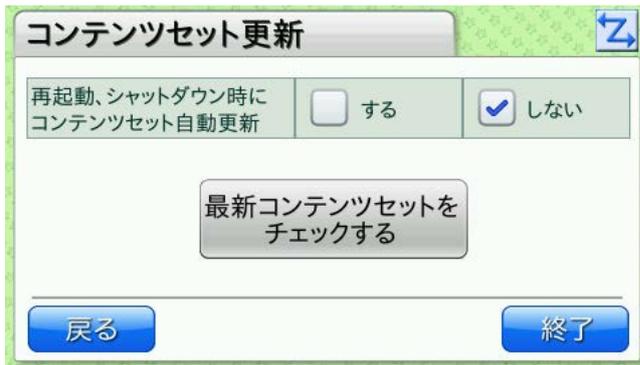


再起動、シャットダウン時にファームウェア自動更新 本製品ではこの機能は使用できません。「しない」を選択してください。

※ [最新ファームウェアをチェックする] ボタンは押さないでください。

5.6.2 コンテンツセット更新

更新画面で [コンテンツセット更新] ボタンを押すと、コンテンツセット更新画面が表示されます。



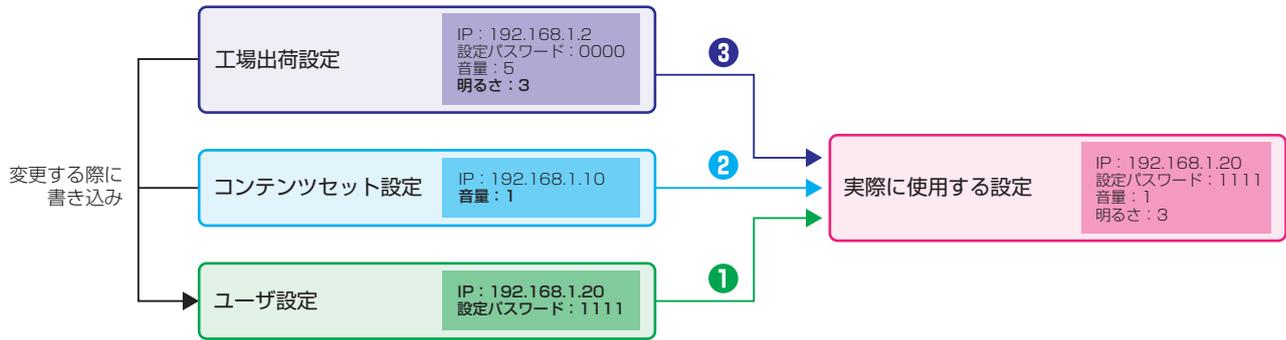
再起動、シャットダウン 本製品ではこの機能は使用できません。「しない」を選択してください。
時にコンテンツセット自
動更新

※ [最新コンテンツセットをチェックする] ボタンは押さないでください。

6 ピットタッチ・プロ本体の設定（コンテンツセット設定でデフォルト値変更）

コンテンツセット設定を行うと、ピットタッチ・プロ本体で使用する機能の各種設定値を、工場出荷時のデフォルト値の代わりとして設定できます。

実際に使用される設定の条件は、以下のとおりです。



実際に使用される設定は、ユーザ設定、コンテンツセット設定、工場出荷設定の順に検索され、見つかった値が使用されます。設定値が変更された場合は、ユーザ設定に書き込まれます。

・工場出荷設定

工場出荷時の設定です。設定値を変更することはできません。

・コンテンツセット設定

設定初期化時に工場出荷時の設定値とは異なる値にしたい場合の設定値です。Web 設定ページから書き込むことができます。設定値をクリアしたい場合は、内容が空のコンテンツセット設定ファイルで更新（上書き）します。

→ [「4.9 コンテンツセット」](#) [〈P.23〉](#)

・ユーザ設定

ユーザが変更した設定値です。Web 設定ページから [設定初期化] を行うと、設定値がクリアされます。

上の図の例で説明します。

IP アドレス ユーザ設定の値「192.168.1.20」が使用されます。

設定パスワード ユーザ設定の値「1111」が使用されます。

音量 ユーザ設定に値がないため、コンテンツセット設定の値「1」が使用されます。

明るさ ユーザ設定とコンテンツセット設定に値がないため、工場出荷設定の値「3」が使用されます。

この状態で [設定初期化] を行うと、IP アドレスが「192.168.1.10」、設定パスワードが「0000」、他の値はそのままになります。

[コンテンツセットクリア] を行うと、IP アドレスが「192.168.1.2」、設定パスワードが「0000」、音量が「5」、他の値はそのままになります。



重要

コンテンツセット設定は、工場出荷設定の代わりとして使用されるデフォルト値です。ユーザが設定した値を変更するものではありません。

設定する項目によっては、工場出荷設定と不整合を起こす場合がありますのでご注意ください。

例えば、コンテンツセット設定の IP アドレスのみ設定して、その他のネットワークに関する設定をしなかった場合、IP アドレス以外は工場出荷設定が使用されるため、通信できなくなる可能性があります。

●コンテンツセット設定の反映

コンテンツセット設定の反映手順には、以下の2つのパターンがあります。

パターン1 (ユーザ設定なし)

コンテンツセットクリアを行い、その後、Web設定ページまたは本体の機能選択画面から設定を実行していない場合：
コンテンツセットまたはコンテンツセット設定ファイルを更新すると、コンテンツセット設定の値がただちに反映されます。

パターン2 (ユーザ設定あり)

コンテンツセットクリアを行い、その後、Web設定ページまたは本体の機能選択画面から設定を実行したことがある場合：
コンテンツセットまたはコンテンツセット設定ファイルを更新しても、コンテンツセット設定の値は反映されません。反映させるには設定を初期化してください。 → [「4.10 クリア・初期化」〈P.24〉](#)

Web設定ページからコンテンツセット設定ファイルを更新するのは、多くの場合、ユーザが設定値を変更した後(パターン2)になります。そのため、設定ファイルの設定値を反映させるには設定の初期化が必要です。設定を初期化するとユーザが設定した内容が削除されますので、ご注意ください。

●コンテンツセット設定ファイルの記述方法

コンテンツセット設定ファイルのフォーマットはkey:value形式で、1行1設定です。文字コードはUTF-8です。keyとvalueのセパレータには、「:」(半角コロン)を使用します。行の先頭に「#」があると、以降はコメントと見なされます。

記述内容に不正なものがあった場合、その行は無視されます。(他の不正ではない行は有効になります。)

無視された行があった場合は、イベントログに記述されます。

コンテンツセット設定で設定可能な項目は、[「9 本体設定値一覧」〈P.47〉](#)を参照してください。

以下は、音量、IPアドレス、設定パスワードをコンテンツセット設定ファイルに記述する例です。

```
# 本体音量：0～5
# 消音に設定
sound.play.volume:0
# IPアドレス取得方法：0:固定IP, 1:DHCP(自動)
# DHCP(自動)に設定
network.lan.ipmode.isdhcp:1
# 設定パスワード：4～20桁の数値
# 1111に設定
settingpage.admin.password:1111
```

7 勤怠パッケージの設定

勤怠パッケージの設定は、プロバイダ設定ファイルで行います。

プロバイダ設定ファイルは Web 設定ページから更新できます。設定した内容をクリアしたい場合は、内容が空のプロバイダ設定ファイルで更新（上書き）します。 → [\[4.9 コンテンツセット\] <P.23>](#)

●勤怠パッケージの設定

勤怠パッケージは以下の手順で設定します。

1. 下の「●プロバイダ設定ファイルの記述方法」にしたがって、設定ファイルを作成します。
2. プロバイダ設定ファイルを更新します。 → [\[4.9 コンテンツセット\] <P.23>](#)
3. 本体の電源ボタンを 2 秒以上押して、機能選択画面を表示させます。
4. 機能選択画面で [終了] ボタンを押します。
5. 変更した設定内容でメイン画面が表示されます。

MEMO

プロバイダ設定ファイルで設定 [データベースインデックス] の値を変更した後、最初にメイン画面が表示される際に、画面が 3 回ほど再描画されます。

●プロバイダ設定ファイルの記述方法

フォーマットは key=value 形式で、1 行 1 設定です。文字コードは UTF-8 です。key と value のセパレータには、「=」（半角イコール）を使用します。行の先頭に「#」がある場合や空行の場合は無視されます。

記述内容に不正なものがあった場合は、コンテンツセット起動時にエラー画面が表示されます。

プロバイダ設定ファイルで設定可能な項目は、[\[10 勤怠パッケージ設定値一覧\] <P.49>](#) を参照してください。

以下は、送信メソッド、再送間隔、代理応答音（ステータス 1）をプロバイダ設定ファイルに記述する例です。

```
# 送信メソッド：POST, GET
#GET を設定
server.send.meshod=GET
# 再送間隔：1 ~ 60
#30 秒に設定
server.resend.interval=30
# 代理応答音（ステータス 1）：0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019
#1008「おはようございます」に設定
agency.sound.status.1=1008
```

8 USB

本製品には、2つのUSBポートがあります。背面カバー内にある内部USBポートと、背面にあるUSBポートです。詳しくは「ピットタッチ・プロ 取扱説明書」を参照してください。

8.1 内部USBポート

内部USBポートは、USB型の通信モジュールまたは無線LANモジュールのみ接続できます。

8.1.1 サポートしている通信モジュール

現在サポートしているUSB型通信モジュールは、以下のとおりです。

- NTTドコモ社製 L-05A
- NTTドコモ社製 L-08C
- NTTドコモ社製 L-03D（※FOMA（3G）での通信のみとなります。Xi（クロッシィ）での通信はできません。）
- ソフトバンク社製 C02SW
- ソフトバンク社製 C02HW

上記のUSB型通信モジュールは、あらかじめWeb設定ページにて通信モジュール設定を行ってからご利用ください。
→ [\[4.4 通信モジュール設定\] <P.19>](#)

MEMO

L-03Dを利用する際は、通信モジュール設定の「ATコマンド」に以下のように設定してください。
ATコマンド：ATH

MEMO

LANケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、通信モジュールでの接続はしません。



通信モジュールをご使用の場合は、ファームウェア更新などで通信データサイズが大きくなる場合があります。
パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。

8.1.2 サポートしている無線LANモジュール

現在サポートしているUSB型無線LANモジュールは、以下のとおりです。

- バッファロー社製 WLI-UC-GNM

上記のUSB型無線LANモジュールは、あらかじめWeb設定ページにて無線LANモジュール設定を行ってからご利用ください。
→ [\[4.5 無線LANモジュール設定\] <P.20>](#)



本製品でWLI-UC-GNMを使用した場合の不具合については、当社サポートへお問い合わせください。

MEMO

LANケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、無線LANモジュールでの接続はしません。

8.2 USBポート

USBポートはUSBメモリ（FAT）（※）と接続するために使用します。

※すべての機器で動作するとは限りません。事前に検証することをお勧めします。また、指紋認証付きなどの特殊なUSBメモリは除きます。

通信モジュール、無線LANモジュールおよびUSBハブは使用できません。

9 本体設定値一覧

コンテンツセットで利用可能な本体設定値は、以下のとおりです。

名前	コンテンツセット 設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
端末設定				
本体音量	sound.play.volume	0～5 (0：OFF)	3	本体の音量を設定します。
キーボード 操作音	keypad.buz.enable	0：OFF 1：ON	1	キーボードの操作音を設定します。 本製品ではキーボードを使用しません。
SSTouch 音量	sstouch.wave.volume	0～5 (0：OFF)	3	SSTouch の音量を設定します。本 製品では SSTouch を使用しません。
明るさ	lcd.backlight. brightness	1～5	3	液晶タッチパネルの明るさを設定し ます。
LAN ポート設定				
IP アドレス 取得方法	network.lan.ipmode. isdhcp	0：固定 IP 1：DHCP	0	LAN の IP アドレス設定方法
IP アドレス	network.lan.ipaddr	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0～255 まで の数値	192.168.1.2	固定 IP 時の IP アドレス
サブネット マスク	network.lan.subnet	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0～255 まで の数値	255.255.255.0	固定 IP 時のサブネットマスク
ゲートウェイ アドレス	network.lan.gateway	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0～255 まで の数値	192.168.1.1	固定 IP 時のゲートウェイアドレス
プライマリ DNS サーバ アドレス	network.lan.dns 1	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0～255 まで の数値		固定 IP 時のプライマリ DNS サーバ アドレス
セカンダリ DNS サーバ アドレス	network.lan.dns2	XXX.XXX.XXX.XXX または空欄 ※ XXX は 0～255 まで の数値		固定 IP 時のセカンダリ DNS サーバ アドレス
通信モジュール設定				
通信モジュール	ppp.device.enable	0：使用しない 1：使用する	0	通信モジュールを使用するかどうか を設定します。
電話番号	ppp.provider.number	32 文字以内の文字列		接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	ppp.provider.user	32 文字以内の文字列		接続に使用するユーザ名を設定しま す。
パスワード	ppp.provider.pass	32 文字以内の文字列		接続に使用するパスワードを設定し ます。
AT コマンド	ppp.provider.initat	AT から始まる 64 文字以内の文字列		通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。

名前	コンテンツセット 設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
無線 LAN モジュール設定				
無線 LAN モジュール	wlan.device.enable	0 : 使用しない 1 : 使用する	0	無線 LAN モジュールを使用するかどうかを設定します。
SSID	wlan.device.ssid	32 文字以内の文字列		SSID を設定します。
認証・暗号化	wlan.security.authenc	0 : 使用しない 1 : WEP 2 : WPA パーソナル 3 : WPA2 パーソナル	0	認証・暗号化方式を設定します。
WEP キー	wlan.wep.key0	5 文字か 13 文字の文字列 または 10 桁か 26 桁の 16 進数		WEP 時の WEP キーを設定します。
WPA 共有キー	wlan.wpa.psk	8 ~ 63 文字の文字列 または 64 桁の 16 進数		WPA パーソナルまたは WPA2 パーソナル時の WPA 共有キーを設定します。
IP アドレス 取得方法	network.wlan.ipmode. isdhcp	0 : 固定 IP 1 : DHCP	1	無線 LAN の IP アドレス設定方法
IP アドレス	network.wlan.ipaddr	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時の IP アドレス
サブネット マスク	network.wlan.subnet	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時のサブネットマスク
ゲートウェイ アドレス	network.wlan.gateway	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時のゲートウェイアドレス
プライマリ DNS サーバ アドレス	network.wlan.dns1	XXX.XXX.XXX.XXX または空欄 ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時のプライマリ DNS サーバ アドレス
セカンダリ DNS サーバ アドレス	network.wlan.dns2	XXX.XXX.XXX.XXX または空欄 ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時のセカンダリ DNS サーバ アドレス
プロキシ設定				
プロキシ機能	network.proxy.enable	0 : 使用しない 1 : 使用する	0	プロキシを使用するかどうかを設定 します。
プロキシ サーバ名	network.proxy.domain	128 文字以内の文字列		プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。
プロキシ ポート番号	network.proxy.port	0 ~ 65535		プロキシサーバのポート番号を設定 します。
認証ユーザ名	network.proxy.user	32 文字以内の文字列		プロキシ認証が必要な場合のユーザ 名を設定します。
認証パスワード	network.proxy.pass	32 文字以内の文字列		プロキシ認証が必要な場合のパス ワードを設定します。
時刻設定				
NTP サーバ名	time.ntp.server	128 文字以内の文字列	ntp.jst.mfeed. ad.jp	NTP サーバを設定します。
設定パスワード				
設定パスワード	settingpage.admin. password	4 ~ 20 桁の数値	0000	新しい設定パスワードを設定します。

10 勤怠パッケージ設定値一覧

10.1 勤怠パッケージ設定値一覧

プロバイダ設定ファイルで使用可能な勤怠パッケージ設定値は、以下のとおりです。

名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
基本設定				
FeliCa システムコード	rfid.felica.syscode	0 ~ 65535, 0x0000 ~ 0xffff	0xffff	ポーリングを行うときの FeliCa システムコードを設定します。
非接触 IC 切り替え	rfid.card.mode	0 : FeliCa 1 : MIFARE 2 : FeliCa と MIFARE	0	使用可能な非接触 IC を設定します。
データベース インデックス	database.index	0 ~ 9	0	送信データ格納用データベースのインデックス番号を設定します。未送信データがある状態で、サーバへ再送せずに未送信データを削除する場合は、この値を変更してください。
オフラインモード	offline.mode	0 : 利用しない 1 : 利用する	0	サーバ通信を行わないオフラインモードについて設定します。
サーバ基本設定				
サーバ URL	server.url	256 文字以内の文字列		サーバの接続先 URL を設定します。
送信メソッド	server.send.method	POST GET	POST	送信メソッドを設定します。
送信フォーマット	server.send.format	512 文字以内の文字列	tid=[TID]&type=[TYPE]&cid=[CID]&tim=[TIME]&sts=[STS]&ext=[EXT]&tx=[TX]&cname=[CNAME]	サーバへ送信するパラメータのフォーマットを設定します。
サーバ拡張設定				
接続タイムアウト	server.connect.timeout	0 ~ 60	10	接続タイムアウトの値 (秒) を設定します。
未対応フォーマット 応答受信	server.receive.unsupported	0 : 失敗表示 1 : 代理応答設定に従う	0	サーバから未対応フォーマット応答を受信した場合の動作を設定します。
再送設定				
再送機能	server.resend.mode	0 : 再送しない 1 : 再送する	1	サーバとの通信においてエラーが発生した場合に実行する再送機能について設定します。
再送間隔	server.resend.interval	1 ~ 60	1	再送間隔 (秒) を設定します。
再送接続タイムアウト	server.resend.connect.timeout	1 ~ 60	15	再送実行時の接続タイムアウトの値 (秒) を設定します。

名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
代理応答設定 (※)				
代理応答音 (ステータスなし)	agency.sound.status.0	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス未使用時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス 1)	agency.sound.status.1	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス 1 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス 2)	agency.sound.status.2	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス 2 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス 3)	agency.sound.status.3	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス 3 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス 4)	agency.sound.status.4	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス 4 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
ステータス設定				
ステータス切り替え	status.mode	0: ボタンを表示しない 2: [出勤] [退勤] 4: [出勤] [退勤] [外出] [再入室] 6: [出勤] [退勤] [休憩] [戻り]	6	メイン画面に表示するステータスボタンの内容を設定します。
食事予約	status.extension.mode	0: ボタンを表示しない 1: [注文する] [注文しない] 2: [A] [B] [注文しない] 3: [A] [B] [C] [注文しない] 4: [A] [B] [C] [D] [注文しない]	0	メイン画面で [出勤] ボタン選択時に表示する食事ステータスボタンの内容を設定します。
ステータス値設定				
ステータス値 (出勤)	status.value.1	1 ~ 4	1	[出勤] ボタンを選択中にカードを検出した場合にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
ステータス値 (退勤)	status.value.2	1 ~ 4	2	[退勤] ボタン選択中にカードを検出した際にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
ステータス値 (休憩/外出)	status.value.3	1 ~ 4	3	[休憩] / [外出] ボタン選択中にカードを検出した際にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
ステータス値 (戻り/再入室)	status.value.4	1 ~ 4	4	[戻り] / [再入室] ボタン選択中にカードを検出した際にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。

※代理応答とは、おサイフケータイやカードをかざした際に、サーバから正しく応答が得られない場合や、オフラインモードを利用している場合に、設定された音声を再生する機能です。また、サーバから未対応フォーマット応答を受信した場合にも代理応答設定を使用します。詳細は「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。

名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
ステータス自動変更設定				
ステータス自動変更時間帯 1	status.auto.term.1	hh:mm-hh:mm hh : 00 ~ 23 mm : 00 ~ 59 または空欄		ステータスの自動変更を行う時間帯を設定します。設定 [自動変更ステータス 1] に対応します。 [ステータス自動変更時間帯 2] の時間帯と重複しないように設定してください。 自動変更ステータス 1 を使用しない場合は空欄にします。
ステータス自動変更時間帯 2	status.auto.term.2	hh:mm-hh:mm hh : 00 ~ 23 mm : 00 ~ 59 または空欄		ステータスの自動変更を行う時間帯を設定します。設定 [自動変更ステータス 2] に対応します。 [ステータス自動変更時間帯 1] の時間帯と重複しないように設定してください。 自動変更ステータス 2 を使用しない場合は空欄にします。
自動変更ステータス 1	status.auto.no.1	1 : [出勤] 2 : [退勤] 3 : [休憩] / [外出] 4 : [戻り] / [再入室]	1	設定 [ステータス自動変更時間帯 1] に従って変更するステータスを設定します。 設定 [ステータス切り替え] に応じて有効なステータスを設定してください。
自動変更ステータス 2	status.auto.no.2	1 : [出勤] 2 : [退勤] 3 : [休憩] / [外出] 4 : [戻り] / [再入室]	2	設定 [ステータス自動変更時間帯 2] に従って変更するステータスを設定します。 設定 [ステータス切り替え] に応じて有効なステータスを設定してください。
表示設定				
メッセージ表示時間	display.message.show.time	1 ~ 30	5	メッセージの表示時間 (秒) を設定します。
時刻表示	clock.mode	0 : 12 時間表示 1 : 24 時間表示	0	メイン画面での時刻表示方法を設定します。

10.2 勤怠パッケージ設定値エラー

プロバイダ設定ファイルで書き込まれた設定値は、起動時と機能選択画面の終了時にチェックされます。プロバイダ設定ファイルの先頭から1行ずつ読み出され、不正な内容が含まれている場合はエラー画面が表示されます。

エラー画面にはエラーの内容が以下のフォーマットで表示されます。

[エラーコード](line:[エラーの発生した行番号])

エラー内容は以下のとおりです。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P000	内部エラー	勤怠パッケージの内部処理で問題が発生した場合に表示されます。本製品を再起動しても発生し続ける場合は販売元へご連絡ください。
P001	key エラー	セパレータの前が空欄、未定義の key を検出した場合に表示されます。
P002	セパレータエラー	セパレータが見つからない場合に表示されます。
P003	key 重複エラー	有効な値が設定されている key が再度検出された場合に表示されます。
P100	「FeliCa システムコード」内容エラー	設定「FeliCa システムコード」の内容が 0 ～ 65535、0x0000 ～ 0xffff の数値以外の場合に表示されます。
P101	「データベースインデックス」内容エラー	設定「データベースインデックス」の内容が 0 ～ 9 の数値以外の場合に表示されます。
P102	「サーバ URL」内容エラー	設定「サーバ URL」の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ～ 0x7e) 以外を含んでいる場合に表示されます。
P105	「送信メソッド」内容エラー	設定「サーバ認証パスワード」の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P106	「フォーマット」内容エラー	設定「フォーマット」の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ～ 0x7e) 以外を含んでいる、または文字数が 512 文字を超える場合に表示されます。
P107	「再送機能」内容エラー	設定「再送機能」の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P108	「再送間隔」内容エラー	設定「再送間隔」の内容が 1 ～ 60 の数値以外の場合に表示されます。
P109	「再送接続タイムアウト」内容エラー	設定「再送接続タイムアウト」の内容が 1 ～ 60 の数値以外の場合に表示されます。
P110	「接続タイムアウト」内容エラー	設定「接続タイムアウト」の内容が 0 ～ 60 の数値以外の場合に表示されます。
P111	「未対応フォーマット応答受信」内容エラー	設定「未対応フォーマット応答受信」の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P112	「代理応答音：ステータスなし」内容エラー	設定「代理応答音：ステータスなし」の内容が 0000、1001 ～ 1004、1008 ～ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P113	「代理応答音：ステータス 1」内容エラー	設定「代理応答音：ステータス 1」の内容が 0000、1001 ～ 1004、1008 ～ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P114	「代理応答音：ステータス 2」内容エラー	設定「代理応答音：ステータス 2」の内容が 0000、1001 ～ 1004、1008 ～ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P115	「代理応答音：ステータス 3」内容エラー	設定「代理応答音：ステータス 3」の内容が 0000、1001 ～ 1004、1008 ～ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P116	「代理応答音：ステータス 4」内容エラー	設定「代理応答音：ステータス 4」の内容が 0000、1001 ～ 1004、1008 ～ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P117	「ステータス切り替え」内容エラー	設定「ステータス切り替え」の内容が 0、2、4 の数値以外の場合に表示されます。
P118	「食事予約」内容エラー	設定「食事予約」の内容が 0 ～ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P119	「メッセージ表示時間」内容エラー	設定「メッセージ表示時間」の内容が 1 ～ 30 の数値以外の場合に表示されます。
P120	「非接触 IC 切り替え」内容エラー	設定「非接触 IC 切り替え」の内容が 0、1、2 の数値以外の場合に表示されます。
P121	「ステータス値：出勤」内容エラー	設定「ステータス値 (出勤)」の内容が 1 ～ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P122	「ステータス値：退勤」内容エラー	設定「ステータス値 (退勤)」の内容が 1 ～ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P123	「ステータス値：休憩/外出」内容エラー	設定「ステータス値 (休憩/外出)」の内容が 1 ～ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P124	「ステータス値：戻り/再入室」内容エラー	設定「ステータス値 (戻り/再入室)」の内容が 1 ～ 4 の数値以外の場合に表示されます。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P125	「時刻表示」内容エラー	設定 [時刻表示] の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P126	「ステータス自動変更時間帯 1」内容エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯 1] の内容が空白、または hh:mm-hh:mm の形式以外の場合に表示されます。 hh : 00 ~ 23 mm : 00 ~ 59
P127	「ステータス自動変更時間帯 2」内容エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯 2] の内容が空白、または hh:mm-hh:mm の形式以外の場合に表示されます。 hh : 00 ~ 23 mm : 00 ~ 59
P128	「自動変更ステータス 1」内容エラー	設定 [自動変更ステータス 1] の内容が 1 ~ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P129	「自動変更ステータス 2」内容エラー	設定 [自動変更ステータス 2] の内容が 1 ~ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P130	「オフラインモード」内容エラー	設定 [オフラインモード] の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P200	「自動変更ステータス 1」設定不整合エラー	設定 [ステータス切り替え] が 2 に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス 1] が 3 または 4 の場合に表示されます。
P201	「自動変更ステータス 2」設定不整合エラー	設定 [ステータス切り替え] が 2 に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス 2] が 3 または 4 の場合に表示されます。
P202	「ステータス自動変更時間帯」重複エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯 1] と設定 [ステータス自動変更時間帯 2] の時間帯が重複している場合に表示されます。

10.3 音声番号

代理応答設定で代理応答音として設定できる音声番号の一覧は、以下のとおりです。

音声番号	主な用途 / 音声内容
1001	成功音 1
1002	成功音 2
1003	失敗音 1
1004	失敗音 2
1008	おはようございます
1009	お帰りなさい
1010	おつかれさまでした
1011	いってらっしゃい
1012	さようなら
1013	登録がありません
1014	出勤です
1015	退勤です
1016	外出です
1017	戻りです
1018	エラーです
1019	おつかれさまです

11 検出ログ

本製品では非接触 IC を 1 回検出するごとに内部に検出ログを記録します。検出ログは USB メモリに保存し、パソコンなどから参照することができます。 → 「3.3.1 打刻データを USB メモリに保存する」〈P.11〉

検出ログは最大で 8000 件まで保存できます。



最大件数の検出ログを保存している状態で新たに非接触 IC を検出した場合は、送信ステータスが「送信完了」のログのうち、検出時刻が最も古いログを 1 件削除して新しいログを保存します。「送信完了」のログが 1 件もない場合は、未送信データフル画面が表示され、新たな検出ログは保存されません。 → 「3.1.4 未送信データフル画面」〈P.9〉

●検出ログファイル

検出ログは、本体設定の管理画面 > 「検出ログ」〈P.11〉から USB メモリに検出ログファイルとして保存することができます。検出ログの各情報を「,」（半角カンマ）で区切り、CSV ファイルとして保存します。

表示例

「出勤」ボタン、食事予約ボタンの「C」ボタンを選択した状態で登録名「pittouch」の FeliCa をかざし、サーバ通信が完了した場合

※設定「ステータス値（出勤）」が「1」に設定されている場合の例です。

```
2012/09/18 14:38:26,FeliCa,0123456789ABCDEF,pittouch,01,03,0,0,1,2012/09/18 14:38:27,200,00
```

表示される項目とその内容は以下のとおりです。

項目	表示内容	説明
カード検出時刻	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	非接触 IC カードを検出した時刻です。
カード種別	FeliCa / Mifare1K / Mifare4K / MifareUL	検出した非接触 IC カードの種別です。
カード ID	FeliCa : 16 桁の 16 進数値 MIFARE : 8 ~ 20 桁の 16 進数値	FeliCa カードまたは MIFARE カードの ID です。
カード登録名	1 ~ 32 文字または空欄	カード ID に対応する登録名です。未登録の場合は空欄になります。
ステータス	01 ~ 04 の数値または空欄	カード検出時に選択されていたステータスに対応する値です。値は「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.49〉の「ステータス値設定」で変更できます。ステータス切り替えを使用しない場合は空欄になります。
食事ステータス	00 ~ 04 の数値または空欄	カード検出時に選択されていた食事ステータスです。「注文しない」を選択した場合は 00 になります。食事予約を使用しない場合、またはカード検出時のステータスが出勤以外の場合は空欄になります。
結果	0 または 1	打刻結果です。再送の有無にかかわらず、サーバへの送信が成功した場合に 0 になります。オフラインモード、または未対応フォーマット応答受信時に代理応答を行う設定の場合も 0 になります。
送信ステータス	0 または 1	再送も含め、サーバとの通信が完了していない場合は 1 になります。サーバとの通信が完了した場合、またはオフラインモードの場合は 0 になります。
サーバ通信結果	0 ~ 2 または 10 ~ 15 の数値	0 : オフラインモードのため、サーバ通信を行いませんでした。 1 : サーバとの通信が成功しました。 2 : サーバから未対応フォーマットを受信しましたが、設定に従い代理応答を実行しました。 10 : サーバから失敗応答を受信しました。 11 : サーバとの通信がタイムアウトしました。 12 : サーバから HTTP/HTTPS StatusCode が 200 以外の応答を受信しました。 13 : サーバから未対応フォーマットを受信しました。 14 : ネットワーク未接続のため、サーバ通信を行いませんでした。 15 : その他通信エラーが発生しました。
通信終了時刻	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	最後に行ったサーバ通信が終了した時刻です。再送が発生するたびに更新されます。ネットワーク未接続時やオフラインモードの場合はカード検出時の時刻になります。

項目	表示内容	説明
HTTP ステータスコード	000 ~ 999 の数値または空欄	最後に行った HTTP/HTTPS 通信でサーバから受信した StatusCode です。通信失敗時や通信未発生時など、StatusCode が受信できなかった場合は空欄になります。
リザルトコード	00 ~ FF の 16 進数値または空欄	サーバから受信したリザルトコードです。通信失敗時や通信未発生時など、リザルトコードが受信できなかった場合は空欄になります。

12 勤怠パッケージで記録するコンソールログ

本製品では、サーバ通信、各種操作、エラーなどのイベントが発生した場合に、コンソールログへ記録します。コンソールログは Web 設定ページの [コンテンツセット] > [コンソールログ] (P.24) で確認できます。

MEMO

各コンソールログの末尾に記録される「http://localhost/s.js:8」は、コンテンツセット内のファイルと行番号を示しています。ピットタッチ・プロのコンソールログの仕様により、自動的に付加されます。

■送信ログ

サーバへの初回の通信時と再送時にそれぞれ送信ログが記録されます。オフラインモード利用時も、カード検出のタイミングで同様に記録されます。

送信ログは「,」(半角カンマ) 区切りで表示されます。



「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」(P.49) の [再送機能] を「再送する」に設定していて、FeliCa をかざした後のサーバへの通信に失敗した場合、送信ログは初回通信時と再送完了時の 2 回出力されます。

MEMO

送信ログは初回通信、再送ともに通信が完了したタイミングで記録されます。

表示例

[出勤] ボタン、食事予約ボタンの [C] ボタンを選択した状態で登録名「pittouch」の FeliCa をかざし、サーバ通信が完了した場合

※設定 [ステータス値 (出勤)] が「1」に設定されている場合の例です。

```
送信完了,2012/03/01 09:00:00,FeliCa,0123456789ABCDEF,01,03,200,00,pittouch,http://localhost/s.js:8
```

表示される項目とその内容は以下のとおりです。

項目	表示内容	説明
通信結果	送信完了	サーバへの送信が完了しました。
	送信失敗	サーバへの送信に失敗しました。(再送失敗時には表示されません。)
	再送完了	サーバへの再送が完了しました。
通信日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	通信が完了した日時です。
カード種別	FeliCa / Mifare1K / Mifare4K / MifareUL	検出した非接触 IC カードの種別です。
カード ID	FeliCa : 16 桁の 16 進数値 MIFARE : 8 ~ 20 桁の 16 進数値 (英字は大文字)	FeliCa カードまたは MIFARE カードの ID です。
ステータス	01 ~ 04 の数値または空欄	カード検出時に選択されていたステータスに対応する値です。値は「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」(P.49) の [ステータス値設定] で変更できます。ステータス切り替えを使用しない場合は空欄になります。
食事ステータス	00 ~ 04 の数値または空欄	カード検出時に選択されていた食事ステータスです。「注文しない」を選択した場合は 00 になります。食事予約を使用しない場合、またはカード検出時のステータスが出勤以外の場合は空欄になります。
HTTP ステータスコード	000 ~ 999 の数値または空欄	HTTP/HTTPS 通信でサーバから受信した StatusCode です。通信失敗時や通信未発生時など、StatusCode が受信できなかった場合は空欄になります。
リザルトコード	00 ~ FF の 16 進数値または空欄	サーバから受信したリザルトコードです。通信失敗時や通信未発生時など、リザルトコードが受信できなかった場合は空欄になります。
カード登録名	1 ~ 32 文字または空欄	カード ID に対応する登録名です。未登録の場合は空欄になります。

■設定エラーログ

勤怠パッケージ設定値エラーが発生した際、発生日時およびエラーコードと共に設定エラーログを記録します。

表示例

「サーバURL」内容エラーが発生した場合

```
2012/09/26 15:22:24, 設定値エラー , P102 (line:3), http://localhost/s.js:8
```

■その他のログ

その他の操作やイベントが発生した際も、発生日時と共にログを記録します。

表示例

送信データ削除確認画面で「削除する」ボタンを押した場合

```
2012/09/25 15:46:38, 検出ログ削除 , オフラインモード , http://localhost/s.js:8
```

13 カード登録

非接触 IC ごとに名前を登録することができます。登録名はサーバへ送信でき、また検出ログにも記録されます。最大 300 件まで登録できます。

非接触 IC を本製品にかざして個別に登録したり、USB メモリに保存したカード登録情報ファイルを使用して一括登録したり、本製品に登録済みの情報を USB メモリへ出力したりすることができます。 → 「3.3.2 カードの名前を登録する」〈P.13〉

MEMO

サーバへの再送時には、非接触 IC 検出時の登録名ではなく、送信するタイミングで登録されている登録名が使用されます。

■登録名

登録名は 1 ～ 32 文字の ASCII で登録します。以下の文字を使用できます。

- 半角英数
- 半角スペース
- ! # \$ % & () _ + - * / = | ; : [] < > ? . ^ @

なお、同じ登録名を複数の非接触 IC に登録できます。

■カード登録情報ファイル

USB メモリとカード登録情報ファイルを使って登録名を一括登録できます。また、ファイル出力を行う際も同じフォーマットのカード登録情報ファイルが使用されます。

カード登録情報ファイルは、「,」（半角カンマ）で区切られた CSV ファイルです。

一括登録時にカード登録情報ファイルに記述できるのは、最大 300 件までです。また、ファイル内に同じカード ID の情報がある場合はエラーになります。

ファイル出力時には、登録日時順に保存されます。一番上が最も古い登録情報です。

記述例

```
1234567890ABCDEF,pittouch,2012/09/06 18:45:56,2012/09/28 10:48:10
```

ファイルの内容は以下の通りです。

項目	表示内容	説明
カード ID	FeliCa : 16 桁の 16 進数値 MIFARE : 8 ～ 20 桁の 16 進数値 (英字は大文字)	登録する非接触 IC のカード ID です。
登録名	1 ～ 32 文字 ・半角英数 ・半角スペース ・!#S%&()_+ -* / = ; : [] < > ? . ^ @	カード ID に対応する登録名です。
登録日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	本体設定の管理画面 > [カード登録] > [登録] 〈P.13〉 から新規にカード登録を行った日時です。 一括登録時は省略可能です。省略した場合は、一括登録を実行した日時が登録されます。
変更日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	本体設定の管理画面 > [カード登録] > [登録] 〈P.13〉 からすでに登録済みのカード登録名を変更した日時です。変更がない場合は登録日時と同じ値になります。 一括登録時は指定されていても無視され、一括登録を実行した日時が登録されます。

14 用語集

FeliCa

ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。
次のような特徴を持っています。

- ・ 強固な通信セキュリティ
- ・ 1 枚のカードに複数のアプリケーションを搭載可能
- ・ 高速なデータ処理

HTTP ステータスコード

Web サーバから返信される 3 桁の数字で通信結果を表します。正常に通信が成功した場合には「200」になります。

MIFARE

NXP セミコンダクターズの登録商標で、近接型非接触 IC カードの国際規格 ISO14443 Type A に準拠したカードです。MIFARE の中でもいくつかの種類がありますが、本製品では MIFARE Classic 1K/4K、MIFARE Ultralight のカードに対応しています。

NTP サーバ (Network Time Protocol サーバ)

ネットワーク経由でコンピュータの内部時計を調整するプロトコルを使用して、正しい時刻を取得するサーバです。本製品は、このサーバを参照することで時刻を合わせています。

おサイフケータイ

非接触式 IC カード技術「FeliCa」を内蔵した NTT ドコモ、au、SoftBank の携帯電話です。携帯電話を読み取り用の機器にかざすだけで、FeliCa の機能を実行できます。

ファームウェア

ROM やフラッシュメモリ上に搭載され、ハードウェアの基本的な制御を行うために機器に組み込まれたソフトウェアです。
本製品の実行環境もファームウェアにより提供されています。機能追加などは、ファームウェアの更新により実施されることがあります。

15 ライセンスについて

15.1 本製品で使用するソフトウェアのライセンスについて

本製品では、以下のライセンスの適用を受けるソフトウェアが含まれています。

- ・ BSD ライセンスに基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ GNU GENERAL PUBLIC LICENSE version 2 に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ GNU GENERAL PUBLIC LICENSE version 3 に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE version 2 に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE version 2.1 に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ その他の条件に基づき利用許諾されるソフトウェア

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE version 2、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE version 3、GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE version 2、GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE version 2.1 に基づき利用許諾されるソフトウェアについて求められる情報提供やその配布方法等については、当社サポートへお問い合わせください。

なお、その場合の送料・手数料はお客様負担となります。

15.2 IPA フォントについて

本製品のソフトウェアでは IPA フォントを使用しています。

IPA フォントのライセンスについては、以下の URL で開示される条件を参照してください。

<http://ossipedia.ipa.go.jp/ipafont/index.html#LicenseJP>

16 FAQ

- NTP サーバを設定しても、時刻が設定されない
 - Web 設定ページの [時刻設定] > [NTP サーバ名] が正しく設定されているか確認してください。<P.22 >
 - ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
 - インターネットに接続できるか確認してください。
- 画面上にリンクがなく、戻れなくなった
 - 本体の電源ボタンを 2 秒以上押して、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある [終了] ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。
- ファームウェアが自動更新されない
 - 本製品ではファームウェア自動更新の機能は使用できません。
- コンテンツセットが自動更新されない
 - 本製品ではコンテンツセット自動更新の機能は使用できません。
- エラー画面が表示される
 - 設定値エラーが表示された場合は、プロバイダ設定ファイルの設定内容を確認してください。設定値エラーの内容については、「10.2 勤怠パッケージ設定値エラー」<P.52 >を参照してください。
 - 設定値エラー以外のエラーが表示された場合は、本製品を再起動してください。再起動後もエラー画面が表示されるときは、販売元へご連絡ください。
- 未送信データフル画面が表示される
 - ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
 - Web サーバへの通信が行えるか確認してください。
- 食事予約ボタンが表示されない
 - [出勤] ボタンを押してください。食事予約ボタンは [出勤] ボタン選択時のみ表示されます。
 - プロバイダ設定ファイルで設定した内容が正しいか確認してください。
- 設定パスワードが分からなくなってしまった
 - 設定内容を確認したり、クリアしたりする方法はありません。販売元へご連絡ください。有償にてパスワードのクリアを承ります。
- 使用している IP アドレスを知りたい
 - 本体の電源ボタンを 2 秒以上押して、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある [端末情報表示] ボタンを押すと、IP アドレスが表示されます。<P.29 >
- Web 設定ページにアクセスできない
 - ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
 - 使用している IP アドレスを確認してください。
- FeliCa カード、おサイフケータイ、MIFARE カードをかざしても反応しない
 - 本体の非接触 IC 読み取り部と FeliCa カード、おサイフケータイの FeliCa マークが重なるようにかざしてください。
 - おサイフケータイの場合は、IC ロックが解除されているか確認してください。
 - プロバイダ設定ファイルで非接触 IC 切り替えが正しく設定されているか確認してください。
 - プロバイダ設定ファイルで FeliCa システムコードが正しく設定されているか確認してください。
- 非接触 IC 検出後、サーバ通信に失敗する
 - ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
 - プロバイダ設定ファイルでサーバ通信のパラメータが正しく設定されているか確認してください。
- サーバ通信後に再生される音声や表示されるメッセージが正しくない
 - ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
 - サーバが返している応答データの内容が正しいか確認してください。

●サーバ URL を変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。〈P.45〉
server.url=[設定したい URL]

●再送する／しないを変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。〈P.45〉
server.eresend.mode=[0 (再送しない) または 1 (再送する)]

●ステータスボタンの数を変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。〈P.45〉
status.mode=[設定したいステータスボタンの数 (0, 2, 4, 6 のいずれか)]

●食事予約ボタンの数を変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。〈P.45〉
status.extension.mode=[設定したい食事ステータスの内容 (0 ~ 4)]

●特定の FeliCa カードのみ反応させたい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。〈P.45〉
rfid.felica.syscode=[反応させたい FeliCa のシステムコード]

● FeliCa カード、おサイフケータイまたは MIFARE カードをかざした後に表示されるメッセージの表示時間を変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。〈P.45〉
display.message.show.time=[設定したい表示時間 (1 ~ 30 秒)]

●時刻表示が進まず止まったままとなる

- 本製品の現在時刻よりも過去の時刻に設定すると、元の時刻を過ぎるまでの間、時刻表示が進まず止まったままとなります。
- 電源ボタンを 2 秒以上押して機能選択画面を表示し、機能選択画面にある [終了] ボタンを押してください。

●通信モジュール、無線 LAN モジュールを使用して通信ができない

- ピットタッチ・プロに LAN ケーブルを接続していませんか？
LAN ケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、通信モジュール、無線 LAN モジュールでの接続はしません。
- 内部 USB ポートに接続していますか？
通信モジュール、無線 LAN モジュールは内部 USB ポートでのみ使用できます。USB ポートに接続しても使用できません。
- 通信モジュール、無線 LAN モジュールを一度内部 USB ポートから外し、再び接続してください。

●USB メモリへの設定バックアップ、カード登録情報出力、検出ログ保存ができない

- USB ポートに USB メモリが接続されていますか？
- USB メモリは書き込み可能な状態ですか？
USB メモリにライトプロテクトがかかっている場合、設定をバックアップできません。
- USB メモリの空き容量は十分ですか？
設定バックアップ、カード登録情報出力には数キロバイト程度、検出ログ保存には数メガバイト程度の空き容量が必要です。
- FAT フォーマットの USB メモリのみ利用できます。
- USB メモリを USB ポートから外し、再び接続してください。

●USB メモリからの設定復元ができない

- USB ポートに USB メモリが接続されていますか？
- USB メモリのルートフォルダに設定ファイル「PitTouchPro.set」がありますか？
- 設定ファイルの内容を変更すると、設定を復元できません。
- FAT フォーマットの USB メモリのみ利用できます。
- USB メモリを USB ポートから外し、再び接続してください。

● USB メモリからのカード情報一括登録ができない

- USB ポートに USB メモリが接続されていますか？
- USB メモリのルートフォルダにカード登録情報ファイル「cardinfo.csv」がありますか？
- 記述できるカード登録情報は最大で 300 件です。
- 同じカード ID が複数ある場合は登録できません。
- カード登録情報ファイルのフォーマットは正しいですか？
- FAT フォーマットの USB メモリのみ利用できます。
- USB メモリを USB ポートから外し、再び接続してください。

● 端末設定からの設定で、無線 LAN アクセスポイントがリストに表示されない

- ステルスモードや、Any 接続拒否が設定された無線 LAN アクセスポイントはリストに表示されないことがあります。
- 無線 LAN アクセスポイントの通信エリア外の可能性があります。
- 一時的に電波が届いていない可能性があります。
[リストを更新] ボタンを押し、無線 LAN アクセスポイントを再検出してください。

● 本製品のコンテンツセットを更新できない

- ピットタッチ・プロのファームウェアバージョンが 2.3 以降である必要があります。ファームウェアバージョンをご確認のうえ、販売元へお問い合わせください。

- ・ 本書の内容の全部または一部について、無断で転載、複製、改変などを行うことは、固くお断りします。
- ・ 本書に記載された仕様、その他の内容については、予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書に記載された事項を元にお客様が作成したプログラム・仕様書などについて発生したいかなる損害も、当社は一切の責任を負いません。

ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ ユーザーマニュアル (Version 2.0)

発行日：2012年10月 第3版

発行：株式会社ビー・ユー・ジー

〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1番14号
